

科目名	民法入門		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修 *
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 ( 社会 ) / 高等学校教諭一種免許状 ( 公民 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科の学科専門科目として位置付けられている。

#### 科目の概要

民法は個人の衣食住にかかわる基本的なルールであり、「市民の法」「市民の権利・義務」を理解する上で不可欠かつ最も重要な法律である。ビジネス関係の法律、消費者保護の法律、家族関係の法律など各種の法律は民法を基礎としている。民法には、民法総則、契約や不法行為を取り扱う債権法のほか、物権・担保物権、親族法・相続法が含まれるが、この科目ではとりわけ、民法総則 ( 権利の主体・客体、法律行為、意思表示、代理、無効・取消、条件・期限、時効など ) を中心に民法の基本的な理解を図ることを目的とする。必要に応じて民法の総則以外の分野にも言及する。

#### 科目の目的

民法総則を中心に、民法の基礎的知識の習得と、法的思考力の身につけることを目的とする。また、知識取得のみならず、具体的な事例を検討することにより論理的思考力や課題解決力の養成も目指す。

内容	
1	ガイダンス 民法総則を学ぶための基礎知識
2	主体 ( 1 ) 自然人 ( 権利能力・意思能力・行為能力。未成年者・成年後見制度 )
3	主体 ( 2 ) 法人 ( 法人とは何か、法人の種類 )
4	客体 物 ( 民法における物の本質・種類・効力 )
5	法律行為 ( 法律行為とは何か。その基本原理と解釈。有効要件 )
6	意思表示 ( 1 ) 心裡留保・虚偽表示
7	意思表示 ( 2 ) 錯誤
8	意思表示 ( 3 ) 詐欺・強迫
9	代理 代理の基本・表見代理・無権代理
10	無効と取消
11	条件・期限・期間
12	時効 ( 1 ) 取得時効と消滅時効
13	時効 ( 2 ) 時効の中断・停止・その他
14	債権法の概要
15	総括

#### 評価

提出物・受講態度 ( 40点 )、ペーパーテスト ( 60点 ) を、総合して評価する。100点満点中60点が単位取得の下限である。

## 授業外学習

【事前予習】授業中に指示した資料の該当箇所を事前に読む。

【事後学修】事例をよく復習し、理解を定着させる。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

### 【参考書】

『プリメール民法＜1＞民法入門・総則』[第3版]安井＝後藤＝中田＝鹿野（法律文化社）

『デイリー六法』（三省堂） その他の六法でも可

科目名	社会学入門		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 (社会) / 高等学校教諭一種免許状 (公民)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科専門科目「A豊かな生活力を育てる」の2年次配当選択科目である。中学校教諭一種免許状 (社会) および高等学校教諭一種免許状 (公民) の教職課程「教科に関する科目」のうち、「社会学、経済学」の必修科目である。

#### 科目の概要

人間は一人では生きていけない。人々の共同生活においては、どのような分業があり、どのような人間関係がつけられているのか。それぞれの共同生活には、そのような文化が伝わっているのか。また、それらがどのように持続または変化して、どのような問題が生じているのか、現代社会を特徴づける14のテーマを取り上げ、官庁統計や民間統計のデータを社会学の基本概念を使って分析することで、考察を深める。

#### 学修目標

社会学の基本概念を習得する。社会的に現象を読み解く洞察力を培う。

内容	
1	人口減少社会
2	高齢社会
3	ジェンダー
4	グローバリゼーション
5	情報化社会
6	農業・農村
7	余暇・レジャー
8	労働と賃金
9	消費生活
10	子どもと若者
11	食育
12	スポーツと文化
13	災害とコミュニティ
14	環境と技術
15	まとめ

#### 評価

授業時の提出物70点 (5点×14回)、学期末のレポート30点とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】新聞記事に目を通して、「生活」に関する社会調査および社会統計のデータをスクラップしておく。

【事後学修】授業で学修した知識に即して、スクラップした新聞記事を整理して、学期末のレポート提出に備える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に内閣府、経済産業省、農林水産省、国土交通省、厚生労働省、消費者庁、文部科学省、環境省などの白書および官庁統計・世論調査、主要な民間統計などを紹介する。

【参考図書】

竹内 洋（2008）『社会学の名著30』ちくま新書。

日本社会学会社会学事典刊行委員会編（2010）『社会学事典』丸善出版。

科目名	消費生活と法律		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (情報) / 中学校教諭一種免許状 (社会) / 高等学校教諭一種免許状 (公民)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科の学科専門科目 ( 選択必修 ) である。

#### 科目の概要

私たちは、通信販売で洋服を買う、映画を見る、旅行会社でツアーに申し込む、電車にのるといったあらゆる日常生活の場面で私たちは誰もが「消費者」として生活している。つまり「事業者」から物やサービスを購入し、利用しているのである。しかし、販売方法も多様化し、社会も複雑化している状況の下、大量生産・大量販売といった機能が事業者により一方的に担われている。そして、消費者と事業者には情報力・経済力等の格差が存在する。そのため、様々な消費者トラブルが発生する可能性が常にある。そこで、消費者トラブルの発生しやすい場面や現代的な課題を取り扱い、紛争解決の仕組みを検証する。

#### 科目の目標

日常の消費生活において消費者を事業者から守る法律とその意義、各種悪徳商法の対策と法、トラブル発生後の消費者救済の仕組みについて学ぶ。また、賢い消費者としての必要な知識を身につけ、消費者トラブルと法の機能と限界について説明できるようにする。また、知識取得のみならず、消費者問題に関連する新聞記事などを利用し文章読解能力・文章表現力を身につけ、また事例を検討することにより論理的思考力や課題解決力の養成も目指します。

#### 内容

1	【総論】消費者法 ガイダンス、消費者と事業者、民法
2	【総論】消費者契約法 悪徳商法と消費者
3	【総論】特定商取引法 訪問販売、クーリング・オフ
4	【各論】高齢者・未成年者の法律問題
5	【各論】金融機関と消費者問題
6	【各論】信用取引と消費者問題
7	【各論】破産・倒産と消費者
8	【各論】マルチ商法・ネズミ講
9	【各論】不動産と消費者問題 ( 前半 )
10	【各論】不動産と消費者問題 ( 後半 )
11	【各論】情報化社会と消費者問題
12	【紛争解決と消費者】裁判所と消費者、裁判所以外の窓口 ( ADR ) と消費者
13	【紛争解決と消費者】行政と消費者
14	【紛争解決と消費者】教育と消費者
15	まとめ

#### 評価

提出物・授業態度 ( 40 点 )、ペーパーテスト ( 60 点 ) を総合して評価する。

100点満点中60点が単位取得の下限となる。

#### 授業外学習

【事前予習】課題（授業中指示された課題、資料を読む等）の準備をする

【事後学修】学んだことを踏まえ、消費者と法の課題について関心と理解を深める。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

開講時に指示する。その他、必要に応じて適宜資料を配布する。

科目名	生活構造論		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

#### 科目の性格

生活情報学科専門科目「A豊かな生活力を育てる」の2・3年次配当選択科目である。

#### 科目の概要

生活とコミュニティ（地域社会）について、生活構造論からアプローチする。そもそも生活とは多義的な概念であるため、生活構造論は多様である。しかしその基本は、個人または家族の生活状況から社会構造を捉え直そうとする、つまり生活者（個人や家族）の主体性に着目している点で共通している。都市化・産業化によって人々の生活水準は向上したが、それは格差社会をつくりだすことにも繋がった。また、生活の質についてはどうであろうか。この科目では、官庁統計や社会調査のデータを用いて、生活者が置かれている生活状況（生活水準、生活時間、生活空間、生活関係）を確認するとともに、地域社会における生活者の主体形成のありかたを考察する。

#### 学修目標

生活者（個人や家族）の主体性に着目し、生活者の生活状況から社会構造を捉えなおす、生活構造論の基本を学ぶ。官庁統計や社会調査データから生活構造を読み解く力を身につける。

#### 内容

1	生活構造 1：生活構造論とは
2	生活構造 2：生活の指標
3	生活水準 1：家族周期と家計構造
4	生活水準 2：消費行動とライフスタイル
5	生活水準 3：階層・階級と格差社会
6	生活時間 1：生活時間の構造
7	生活時間 2：ワークライフバランス
8	生活空間 1：過疎問題
9	生活空間 2：開発と住民運動
10	生活空間 3：都市問題
11	生活関係 1：自治会・町内会
12	生活関係 2：社会的ネットワーク
13	生活関係 3：ボランティア活動
14	生活関係 4：コモンズとまちづくり
15	総括

#### 評価

授業時の課題50点、学期末のレポート50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】授業時の課題提出のために準備する。

【事後学修】授業時の課題を復習して、学期末レポートの作成に備える。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しない。学内ネットワークの授業用フォルダに置いた資料を使用する。

#### 【推薦書】

三浦典子、森岡清志、佐々木 衛 編（1986）『生活構造』（リーディングス日本の社会学5）東京大学出版会。

堤マサエ、徳野貞雄、山本 努 編著（2008）『地方からの社会学』学文社。



科目名	家族生活論		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 ( 社会 ) / 高等学校教諭一種免許状 ( 公民 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科専門科目「A豊かな生活力を育てる」のうち2・3年次配当選択科目である。また、中学校教諭一種免許状 ( 社会 ) および高等学校教諭一種免許状 ( 公民 ) の教職課程「教科に関する科目」のうち、「社会学、経済学」の必修科目である。

#### 科目の概要

生活の基本単位である家族という小集団と、そこでの人間関係の特徴を理解する。家族は、男女が結婚することによってつくり、子どもの誕生によって成員を増やし、やがて子どもが独立することで規模を縮小し、最後は老夫婦のいずれか一方の死によって消滅するという、ライフサイクルを持っている。ライフサイクルのそれぞれのライフステージには、それぞれの生活課題がある。近年、わが国では未婚晩婚化、晩産化が進み、ライフサイクルの平均像が大きく異なっている。本科目では、家族関係における周期的な変化と時代的な変化を、実証的に読み解く力を習得する。

#### 学修目標

家族という小集団の構造と機能、夫婦関係と親子関係について、周期的な変化と時代的な変化を読み解く力を身につける。

#### 内容

1	ガイダンス - 家族の捉え方
2	家族のかたち - 1 . 核家族の二面性
3	家族のかたち - 2 . 家族の種類と分類
4	家族のかたち - 3 . 家族形態の変化
5	結婚と家族形成 - 1 . 異性交際
6	結婚と家族形成 - 2 . 配偶者選択
7	結婚と家族形成 - 3 . 結婚のかたち
8	結婚と家族形成 - 4 . 結婚の変化
9	発達する家族 - 1 . 家族のライフサイクル
10	発達する家族 - 2 . ライフサイクルの変化
11	発達する家族 - 3 . ライフコースと世代
12	家族のライフステージと発達課題 - 1 . 夫婦関係
13	家族のライフステージと発達課題 - 2 . 前期親子関係
14	家族のライフステージと発達課題 - 3 . 後期親子関係
15	総括

#### 評価

授業時の課題30点、学期末試験70点として、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】学内ネットワークの授業用フォルダに置いてあるワークシートで予習する。

【事後学修】ワークシートの解答を確認して、学期末試験に備える。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

##### 【推薦書】

野乃山久也編（2009）『論点ハンドブック 家族社会学』世界思想社。

森岡清美（2012）『「無縁社会」に高齢期を生きる』佼成出版社。

比較家族史学会編（2015）『現代家族ペディア』弘文堂

科目名	生活環境論		
担当教員名	松本 晃子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

身近で関心の高いファッション分野について、ビジネスシステムの観点から把握していくことで、この構造問題を捉えていく。

#### 科目の概要

ファッションビジネスにおいては、多様な消費者のニーズ合わせた多品種少量生産の商品開発、それに伴う製造調整・流通在庫投資を厳しくコントロールしていくという、高度な需給整合システムが求められるようになっている。講義では、日本と欧米のファッションマーケットを比較分析し、ビジネスの最前線の事例研究などから、栄枯盛衰の激しいファッションブランドの戦略や製造メカニズムを把握する。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

流行という要素が非常に大きいファッション業界においての厳しいビジネスから、店舗経営の知識を獲得していく。

#### 内容

1	アパレル産業とは 授業の概略解説
2	商売の起源 流通業の歴史
3	繊維の表示と素材
4	日本の百貨店の仕入れ構造 百貨店の歴史と日本独自の委託取引
5	S P A と価格 流通構造と価格設定のメカニズム - ユニクロの事例
6	トレンドはなぜつくられるか 流行色のメカニズム
7	世界の巨大アパレル スウェーデン「H&M」スペイン「インディテックス」米国「GAP」
8	繊維産業の川上から川下構造 岡山県のジーンズ製造業の事例
9	流通構造の変化 ショッピングセンターと従来型小売業
10	ファーマルウェア業界 メンズ・レディースフォーマルアパレルとルール
11	ネット通販 ネット通販の急成長と今後
12	インテリア業界 インテリア・雑貨ショップとホームセンター
13	セレクトショップ 「こだわり」と「つながり」で消費者に訴える
14	これからのアパレル 新しいアパレル形態の潮流
15	まとめ

#### 評価

期末試験70% 小テスト30%とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前準備】授業計画に示された「学術用語」について、簡単に調べておくこと。

【事後学修】授業で学んだ基礎用語及び理論について見直し、自分の言葉で説明できるようにしておくこと。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない 毎回プリント配布

科目名	政治とメディア		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修 *
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 ( 社会 ) / 高等学校教諭一種免許状 ( 公民 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

専門科目「A.豊かな生活力を育てる」群科目として、政治についての情報の流れについて学ぶ。

人々が政治についての情報を入手する方法は色々ある。その中でも、職業として政治にかかわる人々 ( 政治家、官僚 ) も、素人として政治に参加する人々 ( 有権者 ) が最近特に注目しているのがマスメディアとインターネットメディアである。授業では、この2つを取り上げ、それぞれの特徴や問題点を議論する。また、情報のグローバル化が政治コミュニケーションに及ぼす影響についても考察する。

人々がメディアを通じてどのように政治情報を発信、受信しているか、発信している側の意図は何か、それを受信する側は何を感じるかなど、政治コミュニケーションの現状を理解する。

内容	
1	政治コミュニケーションとは何か
2	発信者と受信者の関係 ( 1 ) : 直接対話
3	発信者と受信者の関係 ( 2 ) : 間接対話
4	マスメディアの自由
5	マスメディアの制約
6	マスメディアと世論
7	インターネットメディアの発展
8	インターネットメディアの影響力
9	メディアの政治的影響
10	政治参加の方法としてのメディア ( 1 ) : 選挙キャンペーン
11	政治参加の方法としてのメディア ( 2 ) : 政治的動員
12	選挙報道
13	政治コミュニケーションの国際比較 ( 1 ) : 欧米諸国
14	政治コミュニケーションの国際比較 ( 2 ) : アジア諸国
15	まとめ

評価

レポート ( 50% )、試験 ( 50% ) で総合評価。60点以上を合格とする。

【フィードバック】レポートの総評は授業で発表、希望者には個々のコメントをつけて返却

授業外学習

【事前予習】マスコミやネットで伝えられる政治的ニュースをフォローする。

【事後学修】授業で説明された分析的視点からニュースを分析する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】蒲島郁夫他 『メディアと政治』有斐閣アルマ 2007年

【推薦書】遠藤薫 『間メディア社会における世論と選挙』東京電機大学出版局 2011年

【参考書】平田オリザ、松井孝治 『総理の原稿』岩波書店 2011年

科目名	生活経済		
担当教員名	松本 晃子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 ( 社会 ) / 高等学校教諭一種免許状 ( 公民 ) / 高等学校教諭一種免許状 ( 家庭 ) / 中学校教諭一種免許状 ( 家庭 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活・家計・消費を「再生産の領域としてとらえ、それらの構造や問題を明らかにする。衣食住を中心とした生活環境の変化から持続可能な消費生活を考察し、自己責任時代のライフプランを作成していく。

#### 科目の概要

本講義は、生活情報学科専門科目である。FP技能士3級合格を目指しながら、年金や税制、金融資産運用について学習する。

#### 学修目標

短期と長期の時間管理と金銭管理を考察。 ライフプラン表を作成し、自立した生活目標を立案。

FP技能士3級に合格できる学力の養成に向けた導入を図る。

内容	
1	イントロダクション
2	家計調査からみた現代日本人の生活
3	家計の変遷 家族の変化と家計
4	ライフプランニングと資金計画
5	ライフプランニングと資金計画
6	生命保険と損害保険
7	金融資産運用
8	金融資産運用
9	税制のしくみ
10	税制のしくみ
11	不動産取引
12	不動産取引
13	相続と事業継承
14	生活経済と新しい潮流
15	まとめ

#### 評価

平常点 ( 10% )、中間テスト ( 30% )、学期末テスト ( 60% ) とし、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】配布されたプリントを読む。

【事後学修】プリントで復習しながら、問題を解く。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書：授業中に指示する。

推薦書：授業時に指示する。



科目名	生活と産業		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科の専門科目であり必修科目である。ディプロマポリシーの3項目すべての基礎として、企業のしくみや経済、社会について取り上げる。

#### 科目の概要

日本や世界の現状を経済的な視点から取り上げる。また、企業の仕組みを取り上げ、さらに日本企業におけるコーポレートガバナンスをアメリカとの比較で行う。その上で、企業が立ち向かう様々な危機を具体的に取り上げ、どのようにその危機を乗り越えていくかを検証していく。また、近年話題M&Aや会社法改正についても取り上げる。さらに、雇用の問題を企業側、労働者側双方から見ていく。また、様々な産業についても取り上げる。

#### 学修目標

企業論に関する基礎的な概念と、現在の企業が抱えている諸問題について理解することを目標にする。また、広く経済や社会の現状を理解できるようにする。

内容	
1	ガイダンス
2	株式会社とは何か
3	株式会社のしくみ
4	コーポレートガバナンス
5	日本的経営
6	リスクと企業経営
7	雇用システム
8	日本産業の特徴 1
9	日本産業の特徴 2
10	日本産業の特徴 3
11	財政赤字と社会保障
12	世界経済の現状 1
13	世界経済の現状 2
14	世界経済の現状 3
15	まとめ

#### 評価

平常点 ( 10% )、中間のレポート ( 30% )、最終のレポート ( 60% ) とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】事前に配布されたプリントを読む。

【事後学修】事後に各企業について自ら調べる。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

開講時に指示する。

科目名	女性と起業		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科の選択科目です。現代の日本社会では女性もビジネス社会で活躍する大きな機会と期待があります。1年次の経営学基礎で学んだ、基礎的用語や知識に基づいて、将来の就職や起業などのキャリア形成に役立つような、ビジネスの考え方と基本概念を学ぶ科目です。

#### 科目の概要

人生において重要な意味を持つ、お金・仕事についての意味を考え、次にビジネスの基本についての考え方を学びます。さらに、起業とはどのような事か、そしてビジネスと企業をマネージし育てていくにはどのような事を考える事が大事かを学びます。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

ビジネスとは何か、起業・事業とは何かを学ぶことにより、就職や起業など将来のキャリア形成に必要な知識を学びます。またこれにより、経営や会計・マーケティング等の他の関連科目の理解が容易になります。

内容	
1	ガイダンス、授業の狙い、授業の進め方、評価方法などについて
2	社会と企業、企業と家計・個人との関係
3	仕事とお金、どうやって決まるのか、報酬と利益
4	お金とライフステージ
5	合理的な人の意思決定の経済理論
6	時間とお金、リスクとリターン、貯蓄と投資
7	起業家の誕生～アイデアをビジネスに
8	ビジネスモデルと基本コンセプト
9	起業で最初にやるべき事
10	個人事業か会社設立か
11	ケーススタディ ( 1 ) ～新しい視点
12	ケーススタディ ( 2 ) ソーシャルビジネス
13	ケーススタディ ( 3 ) ベンチャービジネス、会社の上手な育て方、成長と革新、事業承継
14	女性とビジネス
15	まとめと最終課題

評価

授業への取り組み姿勢 30%、小レポート提出 30%、期末課題提出 40%を目安とし、総合評価 60 点以上を合格とする

。

#### 授業外学習

【事前予習】事前に講義資料をサーバーで目を通しておくこと

【事後学修】授業で学んだ内容を講義資料で再確認し、十分理解できない点があれば次回に質問のこと

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】講義資料はパワーポイントで行い、都度講義資料のプリントを配布する

【参考図書】追って指示する

科目名	家族と労働法		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状（社会） / 高等学校教諭一種免許状（公民）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

科目の性格：

女性の家庭生活および職業生活に関わる法律を取り扱います。具体的には民法家族法（親族・相続）の基礎を学び、働く女性を取り巻く環境と法律・制度との関わりについて検討することになります。

科目の概要：

現代の日本社会においては、個人の価値観が多様化し、それに伴い家族生活も多様化しています。これは夫婦別姓、シングルマザー、離婚の増加に現れている通りです。また、少子高齢化の進行は今までにない新しい家族の問題を生んでいます。子のない夫婦の養子縁組や生殖補助医療で子どもをもつことには、親子についての法的な課題も生じます。認知症で判断力の弱った高齢の親の財産関係については、新しく成年後見制度が設けられました。また、家庭を持ちながら働く上でライフ・ワーク・バランスという考え方も注目されてきています。女性が家庭生活と職業生活を営む上で法律の果たす機能と、課題についても考察します。

学修目標

この授業では、家族法の基礎知識の習得をし、現代の職業人が家族生活を営む上で課題をめぐる法制度状況について理解を深めることを目的とします。また、知識取得のみならず、適宜事例について検討し、各自が意見を書いたり、演習問題を解くことを通じて論理的思考力や課題解決力の養成も目指します。

内容	
1	家族問題と法
2	婚姻と法
3	婚姻と財産
4	離婚と法
5	離婚と財産と子ども
6	親子
7	内縁と認知
8	家族法の現代的問題
9	氏と戸籍
10	扶養・成年後見
11	相続 相続人と相続財産
12	相続 法定相続
13	遺言・遺留分
14	働く女性と法
15	総括

評価

提出物・受講態度（40点）、ペーパーテスト（60点）を総合して評価します。

100点満点中60点が単位取得の下限です。

#### 授業外学習

【事前予習】課題（授業中指示された課題、資料を読む等）の準備をする

【事後学修】学んだことを踏まえ、家族と法の課題について関心と理解を深める。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

資料等は適宜配布する。

【教科書】 開講時に指示

【参考書】 『家族の法[第3版]』 利谷信義（有斐閣）

『デイリー六法』（三省堂） その他の六法も可

科目名	インターンシップ実習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が、可能になるよう準備する人材育策でもある。

##### 科目の概要

10日 (65時間) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

##### 学習目標

多くの学生にはインターンシップに参加することで職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早くとれる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 (心構え、情報や資料の収集等) をしっかり行うことが重要である。

#### 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップの受け入れ先については、就職支援課や教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、就職支援課で実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。また、確実な成果を上げるために、前期に開講される「インターンシップ入門」を受講すること。

#### 評価

受け入れ先の評価(A)、インターンシップレポート(B)、それに巡回指導(C)に基づいて行う。点数配分は、Aが40点、Bが40点、Cが20点とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

#### 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

教科書は使用しない。

科目名	インターンシップ実習		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が、可能になるよう準備する人材育策でもある。

##### 科目の概要

10日 (65時間) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

##### 学習目標

多くの学生にはインターンシップに参加することで職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早くとれる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 (心構え、情報や資料の収集等) をしっかり行うことが重要である。

#### 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップの受け入れ先については、就職支援課や教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、就職支援課で実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。また、確実な成果を上げるために、前期に開講される「インターンシップ入門」を受講すること。

#### 評価

受け入れ先の評価(A)、インターンシップレポート(B)、それに巡回指導(C)に基づいて行う。点数配分は、Aが40点、Bが40点、Cが20点とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

#### 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

教科書は使用しない。



科目名	ライフコースと生活設計		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科専門科目「Bキャリアを形成する」の2・3年次配当選択科目である。

#### 科目の概要

家族という小集団は、男女が結婚することで形成され、子どもの出生と成長によって拡大する。しかし、子どもが成人して自身の家族を形成するにしたがって縮小し、やがてはもとの夫婦二人になるという生活周期をもっている。家族にはこうした周期現象がみられることから、より長いスパンでの生活設計という考えが生まれた。ところが、個人の生き方が多様化するなかで、家族の生活周期と個人のライフコースとはどのように交錯しているのか、時代や世代によってどう変化したのかといった考察が必要になってきた。本科目では、女性の自立とライフコースの選択、格差社会の進展にともなうライフコースの移行の遅れといった今日的な課題について、論理的に考察する。

#### 学修目標

家族周期やライフコースという家族の発達アプローチを理解する。ライフコース分析の基本を学修する。より長いスパンから女性のキャリアを考える視点を身につける。

#### 内容

1	ライフサイクルとは
2	ライフコースとは
3	ライフコース研究の古典 ( 1 ) G.H.エルダー 『大恐慌の子どもたち』
4	ライフコース研究の古典 ( 2 ) T.K.ハレーブン 『家族時間と産業時間』
5	ライフコース研究の古典 ( 3 ) D.W.ブラス 『日本人の生き方』
6	日本におけるライフコース研究の古典 ( 1 ) 森岡他 『現代日本人のライフコース』
7	日本におけるライフコース研究の古典 ( 2 ) 森岡清美 『決死の世代と遺書』
8	ライフコースのステージ移行 ( 1 ) 成人への移行の遅れ
9	ライフコースのステージ移行 ( 2 ) 格差社会の登場
10	結婚と出産の世代変化 ( 1 ) 少子化
11	結婚と出産の世代変化 ( 2 ) 晩産化
12	女性のライフコース ( 1 ) 女性のライフコース・パターン
13	女性のライフコース ( 2 ) ライフコース・マーケティング
14	多様化する高齢期
15	総括

#### 評価

授業時の課題提出50点、学期末試験50点として、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】授業時の課題提出のために準備する。

【事後学修】授業時の課題を復習して、学期末試験に備える。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は特に指定しない。授業時にプリントを配布する。

#### 【参考図書】

森岡清美（2005）『発展する家族社会学』有斐閣。

青木 幸弘 & 女性のライフコース研究会編（2008）『ライフコース・マーケティング』日本経済新聞社。

森岡清美（2012）『「無縁社会」に高齢期を生きる』アークスの森新書。

科目名	問題解決手法		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

大学、職場問わず様々な場面で直面する問題の合理的な解決手法について学ぶ。

#### 科目の概要

問題に直面した時に、たくさんのアイデアを発想しそれをまとめることにより解決策を模索する創造的な解決手法と、問題をモデル化して合理的な意思決定をする解析的な解決手法の両方を学び、演習を通してそれらを活用する力を養う。

#### 学修目標(=到達目標)

- ・様々な問題解決手法について概要を理解する
- ・自分が問題に直面した時に、それらの手法を活用できる

#### 内容

1	ガイダンス(授業の進め方、概要など)
2	問題解決手法の概要
3	グループディスカッション、ブレインストーミング、親和図法
4	特性要因図、マインドマップ
5	いろいろな意思決定法
6	AHP(階層的意決定)
7	演習
8	ジョブショップスケジューリングとガントチャート
9	ジョンソンの基準
10	動的計画問題(1)
11	動的計画問題(2)
12	モデリングとシミュレーション
13	演習
14	まとめ
15	総合演習

#### 評価

以下のふたつの評価方法のうち、高得点の方を総合評価とし、総合評価60点以上を合格とする。

- ・演習 : 25% + 演習 : 25% + 総合演習 : 50%
- ・総合演習 : 100%

【フィードバック】演習は翌週以降の授業で返却・解説する。

## 授業外学習

【事前予習】前回の資料を見直し、理解が不十分な場合は質問項目を整理しておく

【事後学習】学んだ内容を復習して理解を深めておくとともに、身の回りの問題に適用できないか考えてみる

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

### 【教科書】

テキストは使用せず、毎回プリントを配布する。

講義で使用する配布資料・説明資料は総合教育システムで提供する。

科目名	短期インターンシップ		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が、可能になるよう準備する人材育策でもある。

##### 科目の概要

5日 (35時間) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

##### 学習目標

多くの学生にはインターンシップに参加することで職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早くとれる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 (心構え、情報や資料の収集等) をしっかり行うことが重要である。

#### 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップの受け入れ先については、就職支援課や教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、就職支援課で実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。

#### 評価

受け入れ先の評価を考慮し、インターンシップレポートを作成、提出し、報告会で報告した学生のみ単位取得が可能。

#### 授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

#### 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

教科書は使用しない。

科目名	短期インターンシップ		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

インターンシップとは、学生が在学中の一定期間に企業や官公庁など実際の職場に出向いていき、職場で就業体験を行うという教育プログラムのことである。これによって社会の変化や経済・産業界のニーズを知り、社会に出てからの能力発揮が、可能になるよう準備する人材育策でもある。

##### 科目の概要

5日 (35時間) 以上、協力企業・自治体で就業体験を行い、レポートを作成し、受け入れ先の評価をもらう。

##### 学習目標

多くの学生にはインターンシップに参加することで職業選択や将来設計について考える貴重な機会となっている。またインターンシップに参加した学生は内定を早くとれる傾向が見られる。以上のことから、事前の準備 (心構え、情報や資料の収集等) をしっかり行うことが重要である。

#### 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種に限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず、職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的に合ったものを選んで行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味からも実習に対しては無報酬が原則である。

インターンシップの受け入れ先については、就職支援課や教員からの紹介の他に、自己開拓も認める。なお、詳細については、就職支援課で実施するオリエンテーションに必ず出席して確認すること。

#### 評価

受け入れ先の評価を考慮し、インターンシップレポートを作成、提出し、報告会で報告した学生のみ単位取得が可能。

#### 授業外学習

【事前予習】少なくとも1週間程度は、自分が志望する複数の職種を事前に具体的に調査しておくこと。

【事後学修】終了後は、各自1週間程度はしっかりとフィードバックをし、反省すべき点を明らかにしておくこと。

#### 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

教科書は使用しない。

科目名	キャリア基礎力入門		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

##### 科目の性格

大学教育とその後の社会人としてのキャリア形成を支援するための基礎科目である。

##### 科目の概要

就職活動に関わる具体的な基礎力向上のために、特に非言語領域、数学、算数 の授業、問題演習を到達度別クラスに分かれて2年次に行う。

##### 学修目標

基礎的な非言語領域、数学、算数、および言語領域の演習を中心に行い、基礎的な学力の向上を図る。就職活動に必要な学習であるので、後期のキャリア基礎力応用と継続して受講することが望まれる。3年次には、授業「現代社会理解」を履修して就職試験に対応する力を養う。

#### 内容

1	ガイダンス、チェックテスト、必ず受験してください
2	非言語1
3	非言語2
4	非言語3
5	非言語4
6	非言語5
7	非言語6
8	非言語7
9	非言語8
10	非言語9
11	非言語10
12	言語1
13	言語2
14	前期試験
15	言語3

#### 評価

小テスト50点、期末テスト50点などをもとに、総合評価し、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】テキストの未修ポイントの学習1時間

【事後学修】テキストを中心とした練習問題学習 1時間

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業中に指示



科目名	キャリア基礎力応用		
担当教員名	石野 榮一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

#### 科目の性格

大学教育とその後の社会人としてのキャリア形成を支援するために、就職活動に関わる具体的な基礎力向上を目指した授業を行う。

#### 科目の概要

就職活動においてSPIや一般常識は重要な第一歩であり、それをクリアすることは必要条件となる。こうした基礎知識を、解説を含めてわかりやすく学習し、基礎力向上につなげる。就職活動に必要な学習であるので、多くの学生が受講することが望まれる。

#### 学修目標（=到達目標）

就職活動に関わる具体的な基礎力向上を目指す。

#### 内容

1	ガイダンス、チェックテスト、必ず受験してください
2	非言語1
3	非言語2
4	非言語3
5	非言語4
6	非言語5
7	非言語6
8	非言語7
9	非言語8
10	言語1
11	言語2
12	一般常識1
13	一般常識2
14	前期まとめ
15	文書力1

#### 評価

小テスト50点、期末テスト50点などをもとに、総合評価し、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】テキストの未修ポイントの学習1時間

【事後学修】テキストを中心とした練習問題学習 1時間

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】授業中に指示

科目名	簿記基礎		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

##### 科目の性格

本科目は、「簿記入門」に引き続き、会計学の根幹を成す簿記の原理と理論に関する基礎を複式簿記を中心に体系的に理解、学修することをねらいとする科目である。基本的な簿記取引の処理、記帳方法を習得することが求められる科目である。

##### 科目の概要

「会计学入門」「簿記入門」の知識を基盤として、前半は、期中取引における仕訳と帳簿記入を学修し、後半は諸取引の処理と決算を中心に、日商簿記3級の全範囲を学修していく。

##### 学修目標

1. 簿記一巡という全体像を理解する。
2. 企業活動における会計の記帳方法を理解する。
3. 会計記録から財務諸表を作成する能力を習得する。

#### 内容

1	簿記の意味・目的・種類と基礎概念
2	取引、勘定と仕訳
3	帳簿記入、決算と財務諸表（その1）
4	現金預金取引
5	商品売買
6	売掛金と買掛金
7	その他債権債務
8	手形
9	有価証券
10	固定資産、資本金と引出金
11	収益と費用、税金
12	帳簿と伝票
13	決算と財務諸表（その2）
14	決算と財務諸表（その2の続き）
15	まとめ

#### 評価

学修目標に関するミニテストと課題レポート等（20点）、学修目標に基づく期末試験（60点）、通常の授業態度等（20点）により総合的に評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題は必ず指定時間内に解いておくこと

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『検定簿記講義3級商業簿記[平成29年度版]』 渡部裕巨・片山覚・北村敬子編著 中央経済社

その他適宜，補助レジユメを用意する。

【参考図書】 『簿記一般教程』 武田隆二著 中央経済社

その他随時教室にて紹介する。

科目名	簿記基礎		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

#### 科目の性格

本科目は、「簿記入門」に引き続き、会計学の根幹を成す簿記の原理と理論に関する基礎を複式簿記を中心に体系的に理解、学修することをねらいとする科目である。基本的な簿記取引の処理、記帳方法を習得することが求められる科目である。

#### 科目の概要

「会计学入門」「簿記入門」の知識を基盤として、前半は、期中取引における仕訳と帳簿記入を学修し、後半は諸取引の処理と決算を中心に、日商簿記3級の全範囲を学修していく。

#### 学修目標

1. 簿記一巡という全体像を理解する。
2. 企業活動における会計の記帳方法を理解する。
3. 会計記録から財務諸表を作成する能力を習得する。

#### 内容

1	簿記の意味・目的・種類と基礎概念
2	取引、勘定と仕訳
3	帳簿記入、決算と財務諸表（その1）
4	現金預金取引
5	商品売買
6	売掛金と買掛金
7	その他債権債務
8	手形
9	有価証券
10	固定資産、資本金と引出金
11	収益と費用、税金
12	帳簿と伝票
13	決算と財務諸表（その2）
14	決算と財務諸表（その2の続き）
15	まとめ

#### 評価

学修目標に関するミニテストと課題レポート等（20点）、学修目標に基づく期末試験（60点）、通常の授業態度等（20点）により総合的に評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題は必ず指定時間内に解いておくこと

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『検定簿記講義3級商業簿記[平成29年度版]』 渡部裕巨・片山覚・北村敬子編著 中央経済社

その他適宜，補助レジユメを用意する。

【参考図書】 『簿記一般教程』 武田隆二著 中央経済社

その他随時教室にて紹介する。

科目名	簿記初級		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、会計学の根幹を成す簿記の商業簿記の原理と理論に関する基礎を体系的に学修することを目的とした科目である。具体的には、「簿記基礎」に引き続き、より複雑な商業活動の記帳方法と決算技法について、幅広く日商簿記3級の範囲を学修するとともに、数多くの練習問題を解くことにより簿記の計算レベルを上げる。

#### 科目の概要

講義では、基本問題のみならず、演習問題、応用問題にまで発展させ、商業簿記の理解をさらに深めていく予定である。また、手形・固定資産の処理、精算表・財務諸表の作成等、重要なテーマについては問題数を増やし、理解を確実なものにしていく。したがって講義の最終段階では、受講者の日商簿記検定 3級の確実な合格レベルを目指す。

#### 学修目標

学修目標としては、以下の3点をあげる。

1. 企業取引の内容を理解し、会計処理方法を確実に習得する。
2. 発生主義や実現主義、費用収益の対応等、重要な会計理論を理解する。
3. 財務諸表全体の意味を理解し、応用論点にも対応できる。

内容	
1	簿記の基本原理
2	取引、仕訳
3	勘定記入、帳簿
4	現金・現金過不足
5	当座預金・当座借越
6	小口現金、商品売買
7	商品有高帳、売掛金・買掛金
8	その他債権債務、手形(その1)
9	手形(その2)、有価証券、固定資産(その1)
10	固定資産(その2)、資本金と引出金
11	収益と費用、税金、伝票
12	試算表の作成と決算整理手続
13	元帳の締切と財務諸表の作成(その1)
14	元帳の締切と財務諸表の作成(その2)
15	まとめ

#### 評価

ミニテスト・課題レポート等(20%)、通常の授業態度(20%)、学修目標に基づく期末試験(60%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前準備】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題は必ず指定時間内に解いておくこと

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『検定簿記ワークブック3級商業簿記』 渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著（中央経済社）700円

【推薦書】 『簿記一般教程』 武田隆二著（中央経済社）



科目名	簿記初級		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、会計学の根幹を成す簿記の商業簿記の原理と理論に関する基礎を体系的に学修することを目的とした科目である。具体的には、「簿記基礎」に引き続き、より複雑な商業活動の記帳方法と決算技法について、幅広く日商簿記3級の範囲を学修するとともに、数多くの練習問題を解くことにより簿記の計算レベルを上げる。

#### 科目の概要

講義では、基本問題のみならず、演習問題、応用問題にまで発展させ、商業簿記の理解をさらに深めていく予定である。また、手形・固定資産の処理、精算表・財務諸表の作成等、重要なテーマについては問題数を増やし、理解を確実なものにしていく。したがって講義の最終段階では、受講者の日商 簿記検定3級の確実な合格レベルを目指す。

#### 学修目標

学修目標としては、以下の3点をあげる。

1. 企業取引の内容を理解し、会計処理方法を確実に習得する。
2. 発生主義や実現主義、費用収益の対応等、重要な会計理論を理解する。
3. 財務諸表全体の意味を理解し、応用論点にも対応できる。

内容	
1	簿記の基本原理
2	取引、仕訳
3	勘定記入、帳簿
4	現金・現金過不足
5	当座預金・当座借越
6	小口現金、商品売買
7	商品有高帳、売掛金・買掛金
8	その他債権債務、手形 ( その1 )
9	手形 ( その2 )、有価証券、固定資産 ( その1 )
10	固定資産 ( その2 )、資本金と引出金
11	収益と費用、税金、伝票
12	試算表の作成と決算整理手続
13	元帳の締切と財務諸表の作成 ( その1 )
14	元帳の締切と財務諸表の作成 ( その2 )
15	まとめ

#### 評価

ミニテスト・課題レポート等 ( 20% )、通常の授業態度 ( 20% )、学修目標に基づく期末試験 ( 60% ) とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前準備】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題は必ず指定時間内に解いておくこと

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『検定簿記ワークブック3級商業簿記』 渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著（中央経済社）700円

【推薦書】 『簿記一般教程』 武田隆二著（中央経済社）

科目名	簿記初級		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、会計学の根幹を成す簿記の商業簿記の原理と理論に関する基礎を体系的に学修することを目的とした科目である。具体的には、「簿記基礎」に引き続き、より複雑な商業活動の記帳方法と決算技法について、幅広く日商簿記3級の範囲を学修するとともに、数多くの練習問題を解くことにより簿記の計算レベルを上げる。

#### 科目の概要

講義では、基本問題のみならず、演習問題、応用問題にまで発展させ、商業簿記の理解をさらに深めていく予定である。また、手形・固定資産の処理、精算表・財務諸表の作成等、重要なテーマについては問題数を増やし、理解を確実なものにしていく。したがって講義の最終段階では、受講者の日商簿記検定 3級の確実な合格レベルを目指す。

#### 学修目標

学修目標としては、以下の3点をあげる。

1. 企業取引の内容を理解し、会計処理方法を確実に習得する。
2. 発生主義や実現主義、費用収益の対応等、重要な会計理論を理解する。
3. 財務諸表全体の意味を理解し、応用論点にも対応できる。

内容	
1	簿記の基本原理
2	取引、仕訳
3	勘定記入、帳簿
4	現金・現金過不足
5	当座預金・当座借越
6	小口現金、商品売買
7	商品有高帳、売掛金・買掛金
8	その他債権債務、手形 ( その1 )
9	手形 ( その2 )、有価証券、固定資産 ( その1 )
10	固定資産 ( その2 )、資本金と引出金
11	収益と費用、税金、伝票
12	試算表の作成と決算整理手続
13	元帳の締切と財務諸表の作成 ( その1 )
14	元帳の締切と財務諸表の作成 ( その2 )
15	まとめ

#### 評価

ミニテスト・課題レポート等 ( 20% )、通常の授業態度 ( 20% )、学修目標に基づく期末試験 ( 60% ) とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前準備】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題は必ず指定時間内に解いておくこと

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『検定簿記ワークブック3級商業簿記』 渡部裕亘・片山覚・北村敬子編著（中央経済社）700円

【推薦書】 『簿記一般教程』 武田隆二著（中央経済社）

科目名	簿記中級		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、「簿記初級」の知識に引き続き、会計学の根幹を成す簿記の原理と理論を体系的により深く学修することを目的に、企業のさらに複雑な商業活動の記帳方法と決算技法を習得する科目である。

#### 科目の概要

具体的には、日商簿記検定試験2級の商業簿記の範囲に沿って、会計に関する深い考察力と応用力を養っていく。検定試験に必要な問題料確保のため、講義ではテキストの問題の他、プリント配布による練習問題も予定している。

#### 学修目標

複雑な企業取引の内容を把握し、会計処理方法を十分に理解する。また企業取引の複合的な応用論点への対応力も習得する。講義終了時点では、日商簿記検定商業簿記2級の合格レベルを目標とする。

#### 内容

1	簿記一巡の手続
2	現預金取引
3	有価証券取引
4	債権・債務取、手形取引 ( その 1 )
5	手形取引 ( その 2 )、引当金取引
6	商品売買取引
7	特殊商品売買取引 ( その 1 )
8	特殊商品売買取引 ( その 2 )
9	固定資産取引、損益取引
10	株式会社会計 ( その 1 )
11	株式会社会計 ( その 2 )
12	決算 ( その 1 )
13	決算 ( その 2 )
14	本支店会計
15	まとめ

#### 評価

ミニテスト・課題レポート等 ( 20% )、通常の授業態度 ( 20% )、学修目標に基づく期末試験 ( 60% ) とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題は必ず指定の時間内に解いておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『検定簿記講義2級商業簿記[平成29年度版]』 渡部裕巨・片山覚・北村敬子編著（中央経済社） 700円

【推薦書】 『簿記一般教程』 武田隆二著（中央経済社）

科目名	簿記上級		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、「簿記初級」の知識に引き続き、会計学の根幹を成す簿記の原理と理論を体系的により深く学修することを目的に、企業のさらに複雑な商業活動の記帳方法と決算技法を習得する科目である。

#### 科目の概要

具体的には、日商簿記検定試験 2 級の商業簿記の範囲に沿って、会計に関する深い考察力と応用力を養っていく。検定試験に必要な問題料確保のため、講義ではテキストの問題の他、プリント配布による練習問題も予定している。

#### 学修目標

複雑な企業取引の内容を把握し、会計処理方法を十分に理解する。また企業取引の複合的な応用論点への対応力も習得する。講義終了時点では、日商簿記検定商業簿記 2 級の合格レベルを目標とする。

内容	
1	簿記一巡の手続
2	現預金取引
3	有価証券取引
4	債権・債務取、手形取引 ( その 1 )
5	手形取引 ( その 2 )、引当金取引
6	商品売買取引
7	特殊商品売買取引 ( その 1 )
8	特殊商品売買取引 ( その 2 )
9	固定資産取引、損益取引
10	株式会社会計 ( その 1 )
11	株式会社会計 ( その 2 )
12	決算 ( その 1 )
13	決算 ( その 2 )
14	本支店会計
15	まとめ

#### 評価

ミニテスト・課題レポート等 ( 20% )、通常の授業態度 ( 20% )、学修目標に基づく期末試験 ( 60% ) とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】学習のポイントは必ず読んでくること

【事後学修】講義で指示された問題は必ず指定の時間内に解いておくこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『検定簿記講義2級商業簿記[平成29年度版]』 渡部裕巨・片山覚・北村敬子編著（中央経済社） 700円

【推薦書】 『簿記一般教程』 武田隆二著（中央経済社）



科目名	マーケティング論		
担当教員名	松本 晃子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

変化の激しい現代ビジネスを考える上では、マーケティングは欠くことのできないものとなっている。ビジネス情報を、マーケティング理論を踏まえて捉える力の基礎を修得する。

#### 科目の概要

マーケティングとは、市場と企業や組織とのかかわりを考察する考え方や接近法であり、そしてその仕掛け作りである。前半ではマーケティングの重要要素をケーススタディを通して記述していく。後半からは最新のマーケティング展開と社会的役割までを解説。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

本講義では、マーケティングの基礎理論および現象についての理解から、実践的・具体的にマーケティングについて考察する力をつけていく。

内容	
1	マーケティングの基礎概念 - SellingとMarketingの違い
2	マーケティングの発展 - マーケティングの歴史
3	製品開発 - 製品開発の流れと成功率
4	価格のマネジメント
5	消費者行動の理解とマーケティングリサーチ
6	コミュニケーション戦略 - 広告と販売促進
7	市場の細分化とターゲティング
8	製品戦略
9	市場戦略と競争対応 - S W O T 分析
10	競争戦略 - 事例研究
11	競争戦略 - 競争要因と戦略
12	ブランド・マネジメント
13	マーケティング環境
14	サービス・マーケティング - 顧客満足度
15	まとめ マーケティングの社会的役割

#### 評価

授業内中間試験とレポート ( 各15% )、期末試験 ( 70% ) とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】授業計画に示された「学術用語」について、簡単に調べておくこと。

【事後学修】授業で学んだ基礎用語及び理論について見直し、自分の言葉で説明できるようにしておくこと。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない。毎回必要なプリントを配布。

【推薦書】石井淳蔵、廣田章光著『1からのマーケティング』中央経済社

科目名	ブランド戦略		
担当教員名	松本 晃子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

「ブランド」は現在の企業活動において、重要なテーマの一つですが、「ブランド」は今になって急に注目度を増したのではなく、古くは自らの保有物の証明書として捉えられていました。現在の「ブランド」への注目は、他の商品・サービスとの差別化を求める企業のマーケティング行動にのみ関係するのではなく、組織・商品や個人の「存在表明」として捉えられることにあります。

#### 科目の概要

「ブランド」を身近な事例に基いてわかりやすく説明していきます。「ブランド」とは何なのか。その機能や役割、管理について把握し、「ブランド」は消費者にとってどのように認知されるのか、消費者との関係についても理解を深めていきます。

#### 学修目標 (= 到達目標)

「ブランド」の基礎について理解を深め、具体例を基に「ブランド」の戦略や資産価値を述べるようにします。合わせて、自分自身の存在を「ブランド」と捉え、「ブランド」創造の手順を学習し、未来に向けた自らの将来ビジョンを設計する着眼力を高めるようにします。

内容	
1	オリエンテーション
2	ブランドとは何か
3	マーケティング概念変遷とブランド
4	ブランドの構成要素 - 企業経営におけるブランドの果たす役割
5	ブランドの創造ものがたり
6	企業マーケティングとブランドの役割
7	地域ブランドとは何か
8	ブランド・エクイティ
9	新市場創造とブランド化計画
10	SWOT分析と自分自身のブランド化
11	ブランド確立に必要な「商品開発」の具体的手法・考え方について解説
12	開発したブランドの育成に関する考え方・手法について様々な角度から解説
13	ブランド・コミュニティ
14	ブランドのこれから
15	まとめ

#### 評価

授業への参加30%・数回にレポート20%・筆記試験50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

### 【事前予習】

毎回の講義終了時に、次回の講義内容を説明し、予習の要点を指示する。

### 【事後学修】

毎回配布する資料で、講義内容を復習する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】教科書は使用せず。

【推薦書】授業で紹介します。

【参考図書】授業で紹介します。

科目名	ビジネス経済学		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 ( 社会 ) / 高等学校教諭一種免許状 ( 公民 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

生活情報学科の専門科目であり、経済学の基礎を学習する。

科目の概要

経済学の基礎的概念と考え方を学習し、現実の経済問題について考察できるように講義する。

学修目標 ( = 到達目標 )

経済学の基礎的概念を理解する。また、日本経済の諸問題について理解し、自分の意見を持てるようにする。

内容	
1	ガイダンス
2	経済学とは何か
3	ミクロ経済学 1 : 需要と供給
4	ミクロ経済学 2 : 市場の失敗
5	マクロ経済学 1 : ケインズ経済学
6	マクロ経済学 2 : 財政政策と金融政策
7	金融危機と金融政策
8	財政政策と財政赤字
9	中間試験
10	グローバリゼーションと日本経済
11	グローバルな金融危機と日本経済
12	社会保障改革
13	電力改革にみる公益事業
14	日本経済の過去、現状、未来
15	まとめ

評価

中間テスト (30%) と学期末レポート (70%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】配布されたプリントを読むこと。

【事後学修】プリント、ノート、および参考文献の指定箇所を読み復習すること。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】指定なし。

【推薦書】『スティグリッツ 入門経済学 第4版』東洋経済新報社

【参考図書】授業中に指示する。

科目名	ビジネスと法律		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性質

消費生活と法」などとともに履修するとビジネスを行う上での法的課題を経営者側・消費者側双方の視点で検討でき、理解が深まる。

#### 科目の概要

金融業・不動産業・各種販売サービス業などお金が動くビジネスの場面を想定し、関連する法律と問題解決法について学び、ビジネス社会を生きるための法的な教養を身につける。具体的な事例を想定しながら、債権法、物権法、担保物権法や民法の特別法がビジネス社会のなかで実際にどのように活用されているのか、その限界や課題はどこにあるのかについての理解を深める。また、知的財産権法や個人情報保護法といった情報化社会と関連する法律とビジネスとの関係についても言及し、ビジネス社会のなかでの法の役割について検証する。

#### 学習目標

- ・ビジネスに関連する基本的な法律の知識と教養を身につける。
- ・事例を検討することにより、論理的思考力や課題解決力の養成を目指す。
- ・事例や時事問題を利用し、文章読解力・文章表現力を身につける。

内容	
1	ガイダンス、会社と法律との関係
2	会社と法律との関係
3	会社組織に関する法律
4	会社組織に関する法律
5	人事・労務に関する法律
6	人事・労務に関する法律
7	財産に関する法律
8	財産に関する法律
9	取引に関する法律
10	取引に関する法律
11	取引に関する法律
12	債権管理に関する法律
13	債権管理に関する法律
14	ビジネスと紛争処理
15	総括

#### 評価

ワークシート・ミニレポート等の提出物・受講態度 ( 40点 )、試験 ( 60点 ) を総合して評価する。100点満点中60点が単位取得の下限である。

## 授業外学習

【事前予習】課題（授業中指示された課題、資料を読む等）の準備をする

【事後学修】学んだことを踏まえ、ビジネスと法の課題について関心と理解を深める

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

関連資料等は適宜配布する。

【参考書】『ビジネスの常識としての法律』堀龍児・淵邊義彦（日経文庫）



科目名	企業戦略論		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科の選択科目です。すでに「経営学基礎」や「簿記」基礎科目を履修した学生を対象に、将来多くの学生が就職する企業とはどのように経営されているのか、企業経営戦略の全体像を学ぶ科目です。

#### 科目の概要

現代企業を取り巻く環境は、グローバル化や技術革新など複雑化を極めまた変化のスピードが速くなっています。その変化に対応するには、それぞれの個人の専門分野が何であれ、企業経営戦略の全体像を理解したうえでの専門性が求められています。これら企業経営の全体像を俯瞰し、最低限の基礎知識を体系的に学ぶ科目です。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

企業への就職する前に、企業経営の基本とは何かについて正しい理解を持つ事ができます。

#### 内容

1	ガイダンス、授業の狙い・進め方、評価方法など
2	企業の歴史と現代社会における企業
3	企業の目的と経営の目的
4	企業の社会的責任とCSR, リスクマネジメント
5	経営理念とビジョン、経営計画について
6	戦略のマネジメント(1)
7	戦略のマネジメント(2)
8	マーケティングのマネジメント
9	組織のマネジメント
10	人材のマネジメント
11	オペレーションのマネジメント
12	財務と資金、情報のマネジメント
13	成長と再生のマネジメント
14	まとめ
15	課題

#### 評価

授業への取り組み姿勢 30%、小レポート提出 30%、期末課題提出 40%を目安とし、総合評価 60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】事業前に教科書の該当箇所を読んでおく事

【事後学修】授業で学んだ内容を講義資料と教科書で再確認し、十分理解できない点があれば次回に質問のこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】企業経営入門（遠藤功著 日経文庫）。パワーポイント講義資料は都度プリントを配布。

【推薦書】＜イラスト図解＞会社の仕組み（坂田岳史 日本実業出版社）

科目名	企業倫理		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

学科専門科目～(C)ビジネス社会を生きる～の選択科目。企業が社会からどのような倫理行動を要求されているのか、どのような事が問題視されるのかについて学ぶ。将来企業と接する際の行動規範の常識や、企業の一員として働く場合に、どのような事が求められ、どのような事が社会的に問題となるのかを理解する為にも役立つ。企業に就職を志望している学生にとっては有益な授業である。

企業は社会や顧客に価値を提供する事を通じて、利益を追求する組織である。しかし現代社会における企業活動の影響力は大きく、ちょっとした思慮不足や、倫理に反した行動が、社会的に批判され、企業の存続が危うくなる事もある。企業と社会との関係の歴史の変遷や、実際に問題を起こした企業の事例を見ながら、これからの企業が遵守すべき基準や大事な考え方・姿勢は何かを学ぶ。

社会的に期待される優良企業の価値基準、行動パターン、経営陣や所属員の考え方を理解し、また小テストで事例に対する論点や自分の考えをまとめて表現する練習を通じて、将来の生活やビジネスで接したり、就職する可能性のある企業を選ぶ眼も養う事が出来るようになる。

#### 内容

1	ガイダンス,授業の概要・進め方、成績評価など
2	企業の発展の歴史と企業の役割の変遷
3	法人と企業、企業と多様なステークホルダーとの関係
4	利益追求の企業に倫理的な行動は両立するのだろうか
5	企業の社会的責任とその発展
6	企業活動と法律の関係
7	コンプライアンスとは何か
8	消費者や社会の視点からみた企業倫理と不祥事例
9	従業員の視点からみた企業倫理と不祥事例
10	経営者の視点からみた企業倫理の仕組みと事例
11	海外の主な不祥事の事例
12	コーポレートガバナンスと内部統制、監査の役割
13	海外事例から学ぶガバナンスと日本企業の課題
14	これから働く皆さんの視点からみた企業倫理
15	期末課題

#### 評価

授業への参加姿勢30点、小テスト30点、期末レポート40点を目安として総合評価を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】サーバーで講義資料に目を通しておくこと

【事後学修】授業で学んだ内容や事例を、小テストの課題に応用し考えをまとめて提出する事

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

別途指示します

科目名	マネープランニング		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本講義は、生活情報学科の専門科目である。FP技能士3級合格を目指しながら、社会保険制度や民間の保険制度などについて学習する。

#### 科目の概要

FP技能士3級のカリキュラムに沿って学習しながら、広く個人が関わる金融全体についての知識習得を図る。

#### 学修目標

FP技能士3級に合格できる学力の養成を図る。

#### 内容

1	イントロダクション
2	公的年金制度
3	社会保険制度
4	生命保険
5	損害保険
6	保険と税金
7	中間試験
8	マーケットに関する指標
9	金融商品の特徴
10	債券投資
11	株式投資
12	投資信託
13	金融商品と税制
14	まとめ
15	まとめ

#### 評価

平常点 ( 10% )、中間テスト ( 30% )、学期末テスト ( 60% ) とし、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】配布されたプリントを読む。

【事後学修】プリントで復習しながら、問題を解く。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書：授業中に指示する。

推薦書：授業時に指示する。

科目名	国際経営論		
担当教員名	笠原 伸一郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状 ( 社会 ) / 高等学校教諭一種免許状 ( 公民 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

< 科目の性格 > 世界的な高度情報ネットワーク社会の進展と企業のグローバル化の急速な展開は、従来の年功序列、終身雇用といった日本的慣行をも崩壊させ、個々の従業員の能力が問われる時代を日本企業は迎えている。本講では、こうした企業のグローバル化が生じた理由および企業経営の変遷を大企業を事例にして概説し、さらに国際経営戦略論の立場から問題点を検討して、地球企業社会の方向性を明示する。これにより就職先決定へのヒントを提示するとともにグローバル社会で働く意義を理解させる。

< 科目の概要 > 経営学は他の学問と異なり絶対原理はない。個々の企業の盛衰は個々の状況によって異なるゆえ、ケース・スタディ - ( 事例研究 ) によって検証する方法を採る。本講では、多数の事例をあげて国際経営および経営の基礎をわかりやすく解説し、就職で有利になるよう導く。最後に専門とする航空サービス産業の問題点も加えて、グローバル企業の方向性を多角的に検討する。

< 学修目標 ( = 到達目標 ) >

- 1 世界のグローバル化の潮流および国際経営の必要性を理解する
- 2 企業社会でのグローバルな人材としてのセンスを身につけ、就職先決定へのヒントを得る
- 3 人間はなぜ働き、企業は成長しなければならないかを理解する
- 4 異文化経営の問題、とくに日本的経営の特徴について深く理解する
- 5 BOPビジネスを例にグローバル化による経済格差 ( 貧困層 ) の解決策を考える

内容

1	企業とは何か。経営とは何か。 -夢を実現させる方法- ( 事例：東京ディズニーリゾート )
2	経営学の誕生とその必要性 -経営学を学ぶ意味- ( 事例：ハーバード大学 )
3	国際企業に至るまでのプロセスとその戦略 -日本発のコンビニ- ( 事例：セブンイレブン )
4	日本企業の国際化戦略 1 -この世にないモノを創造する- ( 事例：ソニー )
5	日本企業の国際化戦略 2 -人間はなぜ働くのか- ( 事例：ホンダ )
6	日本企業の国際化戦略 3 -デザインが命- ( 事例：日産 )
7	日本企業のグローバル戦略 -協働の強さ- ( 事例：トヨタ、富士通 )
8	日本的経営の原理とその海外移転 -日本人はなぜコンパが好きなのか-
9	米国経営学の系譜 -人間はなぜサボるのか、そしてやる気を起こすには-
10	米国巨大企業のグローバル戦略 -No.1になるとなぜ得なのか- ( 事例：GE )
11	米国巨大グローバルIT企業の実態 -カリスマ経営者の夢- ( 事例：アップル )
12	起業経営とグローバル・ボーンカンパニー -会社を創る意義- ( 事例：HP、グーグル )
13	グローバルリーダーの条件 -家族の父親と母親、そして経営者、政治家に共通するもの-
14	グローバル・サービス産業 -航空業界の将来、CAはどうなるの?- ( 事例：日本航空 )
15	総括 グローバル格差社会とBOPビジネス -世界の貧困層をどう救うか- ( 住友化学 )

## 評価

学修目標に関するレポート（40点）、出席票裏に課す小テストを含む授業への参加度（60点）で総合的に評価し、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】次週授業で講義する該当項目を、教科書で確認する。（30分） 並行して、新聞（日本経済新聞）の経営記事を日々読む習慣をもつことが望ましい。（15分）（計 45分）

【事後学修】授業内容を復習後、より深く詳しく理解するために推薦書などを参考にする。同時に授業内での疑問点の確認作業を行い、「将来のキャリア形成」との関連を考えさせる。（計 1時間）

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】加藤茂夫編、笠原伸一郎ほか著『経営入門 -よい経営の創り方、よい経営の学び方』（学文社）

【推薦書】笠原伸一郎著『グローバル企業の史的展開』（中央経済社）、笠原伸一郎編『図説 国際ビジネス』（中央経済社）、江夏健一編『新版 理論とケースで学ぶ国際ビジネス』（同文館出版）335.5/R 【参考図書】ジェフリー・ジョーンズ著『ビューティビジネス』（中央経済社）日経新聞、その他授業中に指示する。



科目名	国際関係論		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状（社会） / 高等学校教諭一種免許状（公民）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

専門科目「C.ビジネス社会を生きる」群科目として、国際社会の全体像を理解する。

国際問題を、国際社会という舞台に現れる登場人物（アクター）、出来事（ストーリー）という視点でとらえ、20世紀後半の国際問題の流れを再考する。その上で21世紀の国際社会が直面している問題の特徴を探る。同じストーリーでもアクターによって解釈が異なる場合についても検証する。また、新たな情報手段や科学技術の登場によって、これまでとは異なる国際問題が発生する可能性についても論じる。

国際社会の動きと日本、さらに日本国内で身の回りに起きている出来事との関連性を理解し、国際社会が日本から遠いところで、自分に関係なく動いているのではないことを学ぶ。

内容	
1	国際社会への視点：日本の役割
2	20世紀の国際関係（1）：冷戦の始まり
3	20世紀の国際関係（2）：冷戦の終結
4	地域紛争（1）：歴史
5	地域紛争（2）：現状
6	テロリズム
7	南北問題（1）：格差
8	南北問題（2）：貧困
9	環境問題（1）：地球環境問題
10	環境問題（2）：国際協力
11	人権問題
12	国際社会の協力関係（1）：グローバル化
13	国際社会の協力関係（2）：リージョナリゼーション
14	21世紀の国際社会と日本
15	まとめ

評価

レポート（50%）、試験（50%）で総合評価。60点以上を合格とする。

【フィードバック】レポートの総評は授業で発表、希望者には個々のコメントをつけて返却

授業外学習

【事前予習】個々に選択した国あるいは指導者についてのニュースを集める。

【事後学修】授業で説明された国際政治の背景に重ねて、選択した国・指導者の動きについて考える。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】原彬久 『国際関係学講義（第4版）』有斐閣 2011年

【推薦書】渡邊啓貴編 『新版ヨーロッパ国際関係史』有斐閣アルマ 2008年

【参考図書】猪口孝 編 『国際関係リーディングズ』東洋書林 2004年

東大作 『平和構築 - アフガン、東ティモールの現場から』 岩波新書 2009年

科目名	株式投資入門		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

##### 科目の性格

生活情報学科専門科目であり、1,2年次の講義をまとめてさらに実践する科目である。

##### 科目の概要

株取引や債券の売買などさまざまな金融商品を学習し、その上で、株取引や為替取引のシミュレーションを経験する。さらに、株式投資を行うために情報を得ることを目的として、会社情報の収集の方法と読み解き方を学習する。

##### 学修目標

金融商品などの概念を理解する。会社情報の収集方法と内容を理解する。

#### 内容

- 1．ガイダンス
- 2．ファイナンスとは何か
- 3．株式投資
- 4．債券投資
- 5．投資の考え方
- 6．株式投資の実際
- 7．ポートフォリオの構成
- 8．債券の計算
- 9．デリバティブ取引
- 10．オプション取引
- 11．スワップ取引
- 12．投資信託などの金融商品
- 13．証券分析の演習
- 14．外国為替取引
- 15．まとめ

#### 評価

平常点（10%）、毎回の課題（50%）、最終課題（40%）とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】新聞などから企業情報を収集する。

【事後学修】授業で学んだ企業情報の収集方法を実践する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示する。

科目名	企業と情報		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科の選択科目です。すでに「経営学基礎」や「簿記」基礎科目を履修した学生を対象に、企業・会社においては仕事はどのような流れで動いており、そこで流れているお金や情報はどのように扱われているのかを学ぶ科目です。

#### 科目の概要

現代企業では、製造、仕入れ、販売、代金回収など社外の多くの関係先と取引しており、また多くの社員への給料の支払いも行われています。これらの日々の企業活動に伴う取引と、物とお金の流れは、サプライチェーンマネジメントシステム、在庫管理システム、販売管理システム、経理・財務管理システムなどで、正確かつ効率的に管理され、決算書など企業情報としてまとめて株主や銀行などの取引先に報告されます。これら会社におけるビジネスと仕事の流れ、そしてそれらの情報がどのように扱われているかを体系的に学ぶ科目です。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

産業界や企業における仕事の仕組み・情報の流れを俯瞰的に学ぶ事により、他の専門科目との相関関係が理解し易くなり、就職前に会社についての正しい理解を持つ事ができます。

内容	
1	ガイダンス、授業の狙い・進め方、評価方法など
2	企業とは何か ( 1 ) 歴史と社会における役割について
3	企業とは何か ( 2 ) 会社の種類と特徴について
4	企業とは何か ( 3 ) 取引先と仕事のながれについて
5	企業とは何か ( 4 ) 様々な組織と働く人々
6	企業活動と情報、ビジネスプロセスと情報の関係
7	マーケティングとセールスについて
8	製造業と工場生産について
9	輸送とロジスティクスについて
10	インターネット取引と情報について
11	新しいサービスとシェアリング・エコノミーについて
12	金融・ファイナンス取引の基礎について
13	財務・会計、人事・労務について
14	企業の経営計画と予算、予算と実績管理、決算報告
15	まとめと最終課題

#### 評価

授業への取組み姿勢 30%、レポート提出 30%、期末試験 40%を目安とし、総合評価 60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】事業前にサーバーで講義資料に目を通しておく事

【事後学修】授業で学んだ内容を講義資料で再確認し、十分理解できない点があれば次回に質問のこと

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】パワーポイントによる講義資料。都度講義資料プリントを配布。

【推薦書】<イラスト図解>会社のしくみ（坂田岳史著 日本実業出版社）

科目名	会計情報システム		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科の選択科目です。すでに「経営学基礎」や「簿記」「会计学基礎」を履修した学生を対象に、企業・会社においては仕事はどのような流れで動いており、そこで流れているお金や情報はどのように扱われ、企業会計原則に基づいて計上され、決算書に反映されていくかを学ぶ科目です。

#### 科目の概要

現代企業では、製造、仕入れ、販売、代金回収など社外の多くの関係先と取引しており、また多くの社員への給料の支払いも行われています。これらの日々の企業活動に伴う取引と、物とお金の流れは、サプライチェーンマネジメントシステム、在庫管理システム、販売管理システム、経理・財務管理システムなどで、正確かつ効率的に管理され、決算書など企業情報としてまとめて株主や銀行などの取引先に報告されます。これら会社におけるビジネスと仕事の流れ、そしてそれらの情報がどのように扱われているかを体系的に学ぶ科目です。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

産業界や企業における仕事の仕組み・情報の流れを俯瞰的に学ぶ事により、他の専門科目との相関関係が理解し易くなり、就職前に会社についての正しい理解を持つ事ができます。

#### 内容

1	ガイダンス、授業の狙い・進め方、評価方法など
2	企業とは何か ( 1 ) 株式会社の基本
3	企業とは何か ( 2 ) 取引先と仕事のながれ
4	企業とは何か ( 3 ) 組織と人々
5	企業活動と情報、ビジネスプロセスと情報の関係、ITの活用
6	マーケティングと顧客管理・販売管理
7	工場生産と仕入れ、在庫管理
8	輸送とロジスティクス～宅急便
9	金融・ファイナンス取引システム
10	インターネット取引と情報システム
11	財務・会計システム, 損益計算書、貸借対照表
12	人事、労務、給与管理システム
13	企業統合情報システムの種類と企業での採用
14	経営計画と予算、予算と実績管理、決算報告
15	まとめ

#### 評価

授業への取組み姿勢 30%、レポート提出 30%、期末試験 40%を目安とし、総合評価 60 点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】 授業前にサーバーで講義資料に目を通しておく事

【事後学修】 授業で学んだ内容を講義資料で再確認し、十分理解できない点があれば次回に質問のこと

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 パワーポイントによる講義資料。都度プリントを配布。

【推薦書】 <イラスト図解>会社のしくみ （坂田岳史 日本実業出版社）



科目名	インターネットビジネス		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

生活情報学科の専門科目である。

科目の概要

インターネット上では様々な経済取引が拡大している。そこで、インターネット上での取引に関する問題を幅広く取り上げる。

学修目標(=到達目標)

インターネットに関わるビジネスモデルを理解する。

内容	
1	ガイダンス
2	インターネットの歴史としくみ
3	情報通信産業の規制緩和と競争
4	スマートフォン
5	インターネットと広告
6	SNSと無料通話アプリ
7	デジタル広告
8	インターネットと政治
9	ビッグデータとビジネス
10	ポイントサービスとマーケティング
11	インターネットのショッピングサイト
12	決済手段とインターネット
13	インターネットとセキュリティ
14	インターネットと法律
15	まとめ

評価

平常点(10%)、毎回の課題(30%)、最終レポート(60%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】次週取り上げるテーマのサイト確認。

【事後学修】プリントやサイトで確認。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない。

【推薦書】特にしていない。

【参考図書】授業中に指示する。

科目名	調査と統計		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

生活情報学科共通専門科目の2年次必修科目である。

#### 科目の概要

変化の激しい現代社会においては、大量のデータを迅速かつ的確に分析することによって意思決定を行う必要性が高まっている。本科目においては、社会調査において必要とされるデータ解析の基礎知識とExcelによる分析手法を学習する。

#### 学修目標 (= 到達目標)

まず調査データを分析する意義を理解した上で、推測統計の基本である正規分布の特徴、相関と回帰、推定と検定の考え方について学習し、これらに関する問題をExcelを利用して解く事ができる技術を身につける。

内容	
1	質的データと量的データ
2	度数分布とヒストグラム
3	代表値：平均値、中央値、最頻値
4	歪度と尖度
5	分散と標準偏差
6	偏差値
7	相関係数
8	順位相関
9	回帰分析と重回帰分析
10	平均値の差の検定
11	分散の差の検定
12	カイ2乗検定
13	相関係数の検定、回帰分析と重回帰分析の検定
14	一元配置分散分析と多重比較
15	二元配置分散分析

#### 評価

毎時間の提出課題について100点満点で評価し、全15回の平均が60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】教科書の該当箇所を予習する。

【事後学修】授業時に出された課題を仕上げる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】羽山 博&できるシリーズ編集部（2015）『できる やさしく学ぶExcel統計入門』インプレス、1,980円＋税

科目名	調査と統計		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

レポートや卒業研究、社会に出てからの業務等で用いるデータ解析の基礎を学ぶ。

#### 科目の概要

いろいろなデータから、意味のある情報や有用な知見を抽出する解析手法の基礎を学ぶ。また、学んだ手法を用いて実際にデータ解析を経験することにより、理解を深めるとともに実践力を養う。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

- ・ 目的に合わせて適切なデータ解析手法を選択できる
- ・ 解析結果を正しく解釈できる

#### 内容

1	データの種類と基本的な集計
2	度数分布表とヒストグラム
3	基本統計量 ( 平均値、中央値、最頻値、分散、標準偏差 )
4	確率の基礎
5	確率変数と確率分布
6	代表的な確率分布
7	確率変数の平均・分散と期待値
8	母集団と標本
9	正規母集団の母平均・母分散の推定
10	正規母集団の母平均・母分散の検定
11	いろいろな推定・検定
12	散布図と相関係数
13	回帰分析
14	クロス集計と独立性の検定
15	まとめ

#### 評価

授業内で出題する課題：10回×10点=100点とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】翌週以降の授業でコメント、解説

#### 授業外学習

【事前準備】前回の資料を見直し、理解が不十分な場合は質問項目を整理しておく

【事後学修】課題を通して理解を深める

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】

テキストは使用せず、毎回プリントを配布する。

講義で使用する配布資料・説明資料は総合教育システムで提供する。

科目名	社会調査法（量的調査）		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格 今までの専門科目の履修の上で、ビジネスにおける統計の使い方を学ぶ。

科目の概要 EXCELの復習から始まり、統計学の基礎的手法を確認する。その後、ビジネスにおいてつかわれる統計的手法を学習し、自らビジネス問題において統計を用いて解決する方法を身につける。

学修目標 ビジネス上の問題について統計的手法を活用して解決することを目標とする。

#### 内容

1	ガイダンス
2	EXCELの復習
3	統計学の基礎
4	相関係数と散布図
5	推定と検定
6	回帰分析
7	重回帰分析
8	分散分析
9	財務分析 1
10	財務分析 2
11	データの収集方法
12	経済と統計
13	ビジネスと統計 1
14	ビジネスと統計 2
15	まとめ

#### 評価

1) 毎回の課題 50% 2) 最終の課題 50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】配布したプリントを読むこと。

【事後学修】授業の課題をもう一度復習すること。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】白砂堤津耶『初歩からの計量経済学 第2版』日本評論社、2007年。 331.19/S

向後千春他『統計学がわかる』技術評論社、2007年。 417/K

アミール・D・アクゼル他『ビジネス統計学上』ダイヤモンド社、2007年。 331.19/A/1

科目名	社会調査法（質的調査）		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

#### 科目の性格

生活情報学科専門科目「Dビジネスで情報を生かす」の2年次配当選択科目である。社会調査法（量的調査）では統計調査の技法を学ぶのに対して、事例調査の技法を学ぶ。

#### 科目の概要

社会調査には統計処理を前提としてデータを扱う量的調査と、事例データを社会的文脈に即して分析する質的調査の2つのタイプがある。この授業では、ドキュメント分析、インタビュー調査、非参与観察、参与観察といった質的調査の技法を学ぶ。それぞれの単元毎に課題提出があり（自分史の分析、インタビュー調査の設計、タウンウォッチングの設計、参与観察の設計）、学期末には、実際にいずれかの方法で質的調査を実施した結果をレポートにして提出する。

#### 学修目標

社会調査の中でも質的調査について、その基本概念と先行事例を学び、自ら質的調査を設計して実践する技術を習得する。

#### 内容

1	はじめに（質的調査の基本的性格）
2	ドキュメント分析1：公的記録の分析（広報や新聞など）
3	ドキュメント分析2：私的記録の分析（日記・ブログ、手紙・電子掲示板など）
4	ドキュメント分析3：私的記録の分析（自分史の分析）
5	インタビュー調査1：インタビューの種類（構造化面接と非構造化面接）
6	インタビュー調査2：インタビュー調査の事例1（ライフヒストリー）
7	インタビュー調査3：インタビュー調査の事例2（フォーカス・グループ・インタビュー）
8	インタビュー調査4：インタビュー調査の設計
9	非参与観察1：非参与観察の事例（タウンウォッチング）
10	非参与観察2：非参与観察の設計（タウンウォッチングの計画）
11	参与観察1：参与観察の事例（ホワイト『ストリート・コーナー・ソサエティ』）
12	参与観察2：参与観察の技法（フィールドノーツの書き方）
13	参与観察3：参与観察の設計（イベント参加やボランティア体験など）
14	質的調査と倫理
15	総括

#### 評価

授業時の課題提出50点、学期末レポート50点として、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】学内ネットワークの授業用フォルダに置いてある資料を予習する。

【事後学修】授業時の課題を仕上げて指定のフォルダに提出する。



## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は指定しない。学内ネットワークの授業用フォルダに置いた資料を使用する。

### 【参考図書】

桜井 厚（2002）『インタビューの社会学』せりか書房。

桜井 厚訳（1983）W.I.トマス/F.ズナニエツキ『生活史の社会学』御茶の水書房。

中野 卓（1979）『口述の生活史』御茶の水書房。

寺谷弘士訳（1979）W.F.ホワイト『ストリート・コーナー・ソサエティ』垣内出版。

社会調査協会編（2014）『社会調査事典』丸善出版。

科目名	マーケティングリサーチ		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科専門科目「Dビジネスで情報を生かす」3年次前期選択科目である。

#### 科目の概要

生活情報専門科目「Cビジネス社会を生きる」2年次前期配当の選択科目「マーケティング論」および「ブランド戦略」と、生活情報専門科目「Dビジネスで情報を生かす」2年次後期配当選択科目「社会調査法 (量的調査)」「社会調査法 (質的調査)」で教授される内容を発展させ、実践的に応用する技法を習得する。定量調査と定性調査の技法、リサーチテーマ別にみた調査の技法を体系的に学習する。

#### 学修目標 (= 到達目標)

マーケティングとはなにかという理解、マーケティングのための技法の根拠となる理屈の理解、およびこれらの実践的な応用力を身に着ける。

#### 内容

1	はじめに：マーケティングリサーチとは何か
2	定量調査のデータ収集(1)調査の目的と調査方法
3	定量調査のデータ収集(2)調査対象の抽出
4	定量調査のデータ収集(3)調査票の作り方
5	定量調査のデータ分析(1)記述統計
6	定量調査のデータ分析(2)多変量解析
7	定性調査のデータ収集(1)グループインタビューの設計
8	定性調査のデータ収集(2)グループインタビューの進め方
9	定性調査のデータ分析(3)グループインタビューの記録と分析
10	商品開発のマーケティングリサーチ
11	プロモーションのマーケティングリサーチ
12	ブランドのマーケティングリサーチ
13	市場シェアのマーケティングリサーチ
14	ニュー・マーケティングリサーチ
15	まとめ：マーケティングリサーチと倫理

#### 評価

総合的理解度評価を40%、毎回の小レポートの評価を60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】毎回の講義で理解できていなと思う部分について、質問事項をあらかじめ整理しておく。

【事後学修】講義内容をノートに整理する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない。ネットワークの授業用フォルダに資料を格納しておく。

【推薦書】

岸川 茂（編著）・JMRX（著）、2016、『マーケティング・リサーチの基本』、日本実業出版社。

石井栄造（著）、2012、『マーケティングリサーチの進め方がわかる本』、日本能率協会マネジメント位センター。

科目名	パソコン活用		
担当教員名	泉 直子、栗原 隆史、新行内 康慈、田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

日常的に触れるIT関連のハードウェア、ソフトウェアについて演習を中心に学ぶ授業であり、IT関連の授業のもっとも基礎的な授業である。

#### 科目の概要

各教員が3コマ連続で各種のソフトウェアの利用を通して、IT関連の基礎を教える。フリーのソフトウェアも多く利用し演習を中心に進める授業である。

今日の日常生活でも複雑なIT関連機器が多く利用され、日進月歩、新しくなっている。これらIT関連機器やソフトウェアについて、実際に利用して基本的なことを学び、IT関連の用語、日常的に利用するIT 関連の各種のハードウェア、ソフトウェアの機能を理解するとともに、それらの様々な違いや活用の仕方について学ぶ。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

日常的に使われているIT機器やソフトウェアについて基本的なことを理解し、各自がより良い活用の仕方を利用することができるようになる。

#### 内容

1	泉 簡単なアニメーション制作と関連する色彩・画像についての表現
2	泉 続き
3	泉 続き
4	栗原 サウンドデータの編集
5	栗原 続き
6	栗原 続き
7	田倉 フォトムービーの作成 ( 文字、画像、音声、動画の編集 )
8	田倉 続き
9	田倉 続き
10	新行内 USBメモリの活用
11	新行内 続き
12	新行内 続き
13	小野 Scratchゲーム作成
14	小野 続き
15	小野 続き まとめ

#### 評価

平常点30点、各教員の2回の授業に対する課題評価10点の合計とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】次行われる授業について関連するソフトウェア、ハードウェアはどのようなものがあるか、インターネットを使い調べ、予備知識として頭に入れておく。

#### 【事後学修】

授業中に出された課題を仕上げ、授業内容を理解する。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 なし

【推薦書】 各回の授業に必要な本は紹介する

【参考図書】 各回の授業に必要な本は紹介する

科目名	パソコン活用		
担当教員名	泉 直子、栗原 隆史、新行内 康慈、田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

日常的に触れるIT関連のハードウェア、ソフトウェアについて演習を中心に学ぶ授業であり、IT関連の授業のもっとも基礎的な授業である。

#### 科目の概要

各教員が3コマ連続で各種のソフトウェアの利用を通して、IT関連の基礎を教える。フリーのソフトウェアも多く利用し演習を中心に進める授業である。

今日の日常生活でも複雑なIT関連機器が多く利用され、日進月歩、新しくなっている。これらIT関連機器やソフトウェアについて、実際に利用して基本的なことを学び、IT関連の用語、日常的に利用するIT 関連の各種のハードウェア、ソフトウェアの機能を理解するとともに、それらの様々な違いや活用の仕方について学ぶ。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

日常的に使われているIT機器やソフトウェアについて基本的なことを理解し、各自がより良い活用の仕方を利用することができるようになる。

#### 内容

1	栗原 サウンドデータの編集
2	栗原 続き
3	栗原 続き
4	泉 簡単なアニメーション制作と関連する色彩・画像についての表現
5	泉 続き
6	泉 続き
7	小野 オリエンテーション scratchゲーム作成
8	小野 続き
9	小野 続き
10	田倉 フォトムービーの作成 ( 文字、画像、音声、動画の編集 )
11	田倉 続き
12	田倉 続き
13	新行内 USBメモリの活用
14	新行内 続き
15	新行内 続き まとめ

#### 評価

平常点30点、各教員の2回の授業に対する課題評価10点の合計とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】次行われる授業について関連するソフトウェア、ハードウェアはどのようなものがあるか、インターネットを使い調べ、予備知識として頭に入れておく。

### 【事後学修】

授業中に出された課題を仕上げ、授業内容を理解する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 なし

【推薦書】 各回の授業に必要な本は紹介する

【参考図書】 各回の授業に必要な本は紹介する

科目名	ビジネス文書作成		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 家庭 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、社会のあらゆる分野で基礎的な情報活用能力を育成していく。その成果としてMOS(Microsoft Office Specialist) Word 2013 Expertの資格試験の合格を目指す。

#### 科目の概要

Wordの基本的な機能の学習に留まらず、実際のビジネス文書の作成方法やWordの高度な活用方法など実践的なスキルを習得し、最終的にはMOS Word Expert 2013 Expert 資格の合格相当の力を身に着ける。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

Wordの様々な機能を活用して実践的なビジネス文書を作成することができる。

Wordの持つ高度な機能を知り、必要に応じて利用することができる技術を習得する。

MOS Word 2013 Expertの 試験に挑戦し、合格できる能力を習得する。

内容	
1	ガイダンス ( 授業の進め方、試験内容の紹介など )
2	文書作成の復習
3	高度な機能を利用した文書のデザイン 1
4	高度な機能を利用した文書のデザイン 2
5	参考資料の作成
6	文書の管理と共有
7	ユーザ設定のWord要素の作成 1
8	ユーザ設定のWord要素の作成 2
9	模擬問題 1
10	模擬問題 2
11	模擬問題 3
12	模擬問題 4
13	模擬問題 5
14	総復習
15	まとめ

#### 評価

各回の提出課題 (60点) と模擬試験 (40点) により総合評価し60点以上を合格とする。



## 授業外学習

【事前準備】次回の演習内容を読み、内容を理解しておく。

【事後学修】取り扱った内容を見直し、新しく学んだ機能を各自復習しておく。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】FOM出版 「よくわかるMOS Word 2013 Expert Part 1対策テキスト&問題集」

【推薦書】授業時に指示する。

科目名	ビジネス文書作成		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 家庭 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、社会のあらゆる分野で基礎的な情報活用能力を育成していく。その成果としてMOS(Microsoft Office Specialist) Word 2013 資格試験の合格を目指す。

#### 科目の概要

Wordの基本的な機能の学習に留まらず、実際のビジネス文書の作成方法やWordの高度な活用方法など実践的なスキルを習得し、最終的にはMOS Word 2013 資格の合格相当の力を身に着ける。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

Wordの様々な機能を活用して実践的なビジネス文書を作成することができる。

Wordの持つ高度な機能を知り、必要に応じて利用することができる技術を習得する。

MOS Word 2013 試験に挑戦し、合格できる能力を習得する。

内容	
1	ガイダンス ( 授業の進め方、試験内容の紹介など )
2	文書の作成と管理 1
3	文書の作成と管理 2
4	文字、段落、セクションの書式設定 1
5	文字、段落、セクションの書式設定 2
6	表やリストの作成
7	参考資料の適用
8	オブジェクトの挿入と書式設定
9	模擬問題 1
10	模擬問題 2
11	模擬問題 3
12	模擬問題 4
13	模擬問題 5
14	総復習
15	まとめ

#### 評価

各回の提出課題 (60点) と模擬試験 (40点) により総合評価し60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前準備】次回の演習内容を読み、内容を理解しておく。

【事後学修】取り扱った内容を見直し、新しく学んだ機能を各自復習しておく。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に指示する。

科目名	ビジネス文書作成		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(家庭)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

本科目では、社会のあらゆる分野で必要とされる情報活用能力を育成する。Wordの高度な活用方法を学び、レポートや卒業論文、ビジネス文書など各種文書を用途に合わせて効率よく作成するための実践的なスキルを習得する。

#### 科目の概要

情報処理演習 で学習したWordの基本的な編集機能をベースに、書式設定やスタイルのカスタマイズ、校閲、ユーザー設定のテンプレート作成など高度な活用方法を学び、レポートや卒業論文など各種文書を作成するための実践的なスキルを習得する。

#### 学修目標(=到達目標)

Wordの様々な機能を活用して各種文書を作成する実践的なスキルを習得する。

Wordの持つ高度な機能を知り、必要に応じて効果的に活用することができる技術を習得する。

MOS Word 2013 Expert Part1に合格できる能力を習得する。

内容	
1	ガイダンス(授業の進め方、資格試験概要など)
2	基本機能・操作の確認(1)
3	基本機能・操作の確認(2)
4	高度な機能を使用した文書のデザイン(1)
5	高度な機能を使用した文書のデザイン(2)
6	高度な機能を使用した参考資料の作成(1)
7	高度な機能を使用した参考資料の作成(2)
8	文書の管理と共有
9	ユーザー設定のWord要素の作成
10	模擬試験1
11	模擬試験2
12	模擬試験3
13	模擬試験4
14	模擬試験5
15	まとめ

#### 評価

模擬試験：20点×5回=100点とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】模擬試験の採点、解説などは専用アプリケーションにより行う。

#### 授業外学習

【事前準備】次回の演習内容を読み、内容を理解しておく。

【事後学修】取り扱った内容を見直し、新しく学んだ機能を各自復習しておく。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】富士通エフ・オー・エム株式会社、よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Microsoft Word 2013 Expert Part1 対策テキスト&問題集、FOM出版

科目名	データ活用		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 家庭 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

本科目は、社会のあらゆる分野で必要とされる基礎的な情報活用能力を育成していく。その成果としてMOS(Microsoft Office Specialist) Excel 2013 資格試験の合格を目指す。

##### 科目の概要

Excelの基本的な機能の学習に留まらず、実践的なデータ集計・処理の方法やExcelの高度な活用方法など実践的なスキルを習得し、最終的にはMOS Excel 2013 資格の合格相当の力を身に着ける。

##### 学修目標 ( = 到達目標 )

Excelの様々な機能を活用して実践的なデータ集計・処理ができる。

Excelの持つ高度な機能を知り、必要に応じて利用することができる技術を習得する。

MOS Excel 2013 試験に挑戦し、合格できる能力を習得する。

#### 内容

1	ガイダンス ( 授業の進め方、内容の紹介など )
2	ワークシートやブックの作成と管理 ( 1 )
3	ワークシートやブックの作成と管理 ( 2 )
4	セルやセル範囲の作成 ( 1 )
5	セルやセル範囲の作成 ( 2 )
6	テーブルの作成
7	数式や関数の適用
8	グラフやオブジェクトの作成 ( 1 )
9	グラフやオブジェクトの作成 ( 2 )
10	模擬問題1
11	模擬問題2
12	模擬問題3
13	模擬問題4
14	模擬問題5
15	まとめ

#### 評価

各回の提出課題 : 50点、模擬試験 : 50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】次回の演習内容を読み、内容を理解しておく。

【事後学修】取り扱った内容を見直し、新しく学んだ機能を各自復習しておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】富士通エフ・オー・エム株式会社、よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Microsoft Excel 2013 対策テキスト&問題集 改訂版、FOM出版

科目名	データ活用		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 家庭 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、社会のあらゆる分野で必要とされる基礎的な情報活用能力を育成していく。その成果としてMOS(Microsoft Office Specialist) Excel 2013 資格試験の合格を目指す。

#### 科目の概要

Excelの基本的な機能の学習に留まらず、実践的なデータ集計・処理の方法やExcelの高度な活用方法など実践的なスキルを習得し、最終的にはMOS Excel 2013 資格の合格相当の力を身に着ける。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

Excelの様々な機能を活用して実践的なデータ集計・処理ができる。

Excelの持つ高度な機能を知り、必要に応じて利用することができる技術を習得する。

MOS Excel 2013 試験に挑戦し、合格できる能力を習得する。

#### 内容

1	ガイダンス ( 授業の進め方、内容の紹介など )
2	ワークシートやブックの作成と管理 ( 1 )
3	ワークシートやブックの作成と管理 ( 2 )
4	セルやセル範囲の作成 ( 1 )
5	セルやセル範囲の作成 ( 2 )
6	テーブルの作成
7	数式や関数の適用
8	グラフやオブジェクトの作成 ( 1 )
9	グラフやオブジェクトの作成 ( 2 )
10	模擬問題1
11	模擬問題2
12	模擬問題3
13	模擬問題4
14	模擬問題5
15	まとめ

#### 評価

各回の提出課題 : 50点、模擬試験 : 50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習



【事前準備】次回の演習内容を読み、内容を理解しておく。

【事後学修】取り扱った内容を見直し、新しく学んだ機能を各自復習しておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】富士通エフ・オー・エム株式会社、よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Microsoft Excel 2013 対策テキスト&問題集 改訂版、FOM出版

科目名	データ活用		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Cクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 家庭 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

##### 科目の性格

本科目は、社会のあらゆる分野で必要とされる基礎的な情報活用能力を育成していく。その成果としてMOS(Microsoft Office Specialist) Excel 2013 資格試験の合格を目指す。

##### 科目の概要

Excelの基本的な機能の学習に留まらず、実践的なデータ集計・処理の方法やExcelの高度な活用方法など実践的なスキルを習得し、最終的にはMOS Excel 2013 資格の合格相当の力を身に着ける。

##### 学修目標 ( = 到達目標 )

Excelの様々な機能を活用して実践的なデータ集計・処理ができる。

Excelの持つ高度な機能を知り、必要に応じて利用することができる技術を習得する。

MOS Excel 2013 試験に挑戦し、合格できる能力を習得する。

内容	
1	ガイダンス ( 授業の進め方、内容の紹介など )
2	ワークシートやブックの作成と管理 ( 1 )
3	ワークシートやブックの作成と管理 ( 2 )
4	セルやセル範囲の作成 ( 1 )
5	セルやセル範囲の作成 ( 2 )
6	テーブルの作成
7	数式や関数の適用
8	グラフやオブジェクトの作成 ( 1 )
9	グラフやオブジェクトの作成 ( 2 )
10	模擬問題1
11	模擬問題2
12	模擬問題3
13	模擬問題4
14	模擬問題5
15	まとめ

#### 評価

各回の提出課題 : 50点、模擬試験 : 50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】次回の演習内容を読み、内容を理解しておく。

【事後学修】取り扱った内容を見直し、新しく学んだ機能を各自復習しておく。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】富士通エフ・オー・エム株式会社、よくわかるマスター Microsoft Office Specialist Microsoft Excel 2013 対策テキスト&問題集 改訂版、FOM出版

科目名	ビジネスデータ活用応用		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は生活情報学科 Dビジネスで情報を生かす 分野の専門科目である。「ビジネスデータ活用基礎」で表計算ソフトを使う時に有効なマクロ機能及びマクロ利用の基礎を基に、その応用について学ぶ。

表計算ソフトのマクロとして、プログラミング技術を利用した汎用性の高いマクロとしてのVBA(Visual Basic for Applications)を用いた簡単なシステムの作成を行う。VBAの応用問題に取り組むことにより、マクロ言語を応用利用できるようにする。

VBEを使いVBAのマクロ言語を編集することができる。

イベント駆動型のプログラミング言語の考え方を理解し、さまざまなコントロールマクロを登録することができる。マクロ言語とExcelファイルを利用し、簡単なシステム開発ができるようにする。

内容

1	表計算ソフト ExcelのVBA復習 1
2	表計算ソフト Excel のVBA復習 2
3	表計算ソフトExcel のVBA復習 3 コントロールを利用したマクロ
4	簡単なシステムの作成 1 システムについての理解
5	簡単なシステムの作成 2 複数ブックからのデータ集計
6	簡単なシステムの作成 3 入力フォームの作成
7	簡単なシステムの作成 4 ピボットテーブルの利用
8	簡単なシステムの作成 5 印刷フォームの作成 メニューの作成 自動実行
9	応用問題 システムの作成
10	応用問題 システムの作成
11	応用問題 システムの作成
12	総合問題
13	総合問題
14	総合演習
15	まとめ

評価

平常授業の態度の評価30点と各回の提出物の評価70点を総合的に評価し、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】 教科書の次回行うところを簡単に読み、次回の話題を把握しておく。

【事後学修】 毎回出される課題を仕上げるとともに、新しい話題は何なのか把握し、教科書のどこに書いてあるかを把握

する。応用問題を行うときに、自分で教科書を見て解くことができるようにしておくことにより、その時に学習内容を定着させることができる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】30時間でマスター Excel 2007 VBA 実教出版

科目名	Webページ作成基礎		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は、生活情報学科の専門科目であり、必須科目である。Webページ作成の基本的な技術と理論を学ぶ。本科目履修後、2年次後期科目の「Webページとスクリプト」を履修することにより、さらに理解を深めることができる。

#### 科目の概要

インターネットを利用することが当たり前の時代となってきた、Webページを用いた情報発信も拡大の一途をたどっている。Webサイトの役割も、情報発信から、電子商取引、ネットショッピングなど情報発信だけではなく多彩なサービスを期待されている。本授業では、WebページやWebサイト作成の基本的な技術と理論を学び、Webページ作成ができることを目的とする。

#### 学修目標 (= 到達目標)

WebページやWebサイト作成の基本的な技術と理論を理解する。

HTML言語を理解し、HTML言語でWebページを作成することができる。

内容	
1	オリエンテーション、授業の進め方、Webページの動作と仕組み
2	Webページ制作の基本
3	HTMLの基本、画像表示
4	HTMLの基本、ハイパーリンクの設定
5	応用問題 1
6	HTMLの基本 テーブル作成 1
7	HTMLの基本 テーブル作成 2
8	HTMLの基本 フレームデザイン
9	応用問題 2
10	スタイルシートの利用 1
11	スタイルシートの利用 2
12	アンケートフォームの作成
13	応用問題 3
14	総合問題
15	まとめ

評価

各回の課題の評価を50点、授業への参加度20点、総合課題30点とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】教科書に目を通し、学習内容を把握し、問題点を列挙し、授業中に理解するよう努める。

【事後学修】授業中の課題を完成し、学習内容を身に付ける。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】最初の授業で指定する。

科目名	Webページ作成基礎		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必,必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

本科目は、生活情報学科の専門科目であり、必須科目である。Webページ作成の基本的な技術と理論を学ぶ。本科目履修後、2年次後期科目の「Webページとスクリプト」を履修することにより、さらに理解を深めることができる。

#### 科目の概要

インターネットを利用することが当たり前の時代となってきた、Webページを用いた情報発信も拡大の一途をたどっている。Webサイトの役割も、情報発信から、電子商取引、ネットショッピングなど情報発信だけではなく多彩なサービスを期待されている。本授業では、WebページやWebサイト作成の基本的な技術と理論を学び、Webページ作成ができることを目的とする。

#### 学修目標(=到達目標)

WebページやWebサイト作成の基本的な技術と理論を理解する。  
HTML言語を理解し、HTML言語でWebページを作成することができる。

内容	
1	オリエンテーション、授業の進め方、Webページの動作と仕組み
2	Webページ制作の基本
3	HTMLの基本、画像表示
4	HTMLの基本、ハイパーリンクの設定
5	応用問題 1
6	HTMLの基本 テーブル作成 1
7	HTMLの基本 テーブル作成 2
8	HTMLの基本 フレームデザイン
9	応用問題 2
10	スタイルシートの利用 1
11	スタイルシートの利用 2
12	アンケートフォームの作成
13	応用問題 3
14	総合問題
15	まとめ

評価



各回の課題の評価を50点、授業への参加度20点、総合課題30点とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】教科書に目を通し、学習内容を把握し、問題点を列挙し、授業中に理解するよう努める。

【事後学修】授業中の課題を完成し、学習内容を身に付ける。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】最初の授業で指定する。

科目名	新しいWebページ		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格： 情報分野におけるインターフェース技術であるWebページの作成技術を学ぶ。特に、2年生前期科目「Webページ作成」の内容を基礎として、JavaScriptと高度で便利な機能をまとめたJavaScriptライブラリであるjQueryを使った動きのあるWebページ作成技術を身につける。JavaScriptとjQueryは、HTML、CSSで記述されたWebページに機能追加を行うことで動きのあるページを作成する。このため、HTML、CSSについて、他人の作ったものを理解、編集できることが前提となる。なお、JavaScriptの名称にJavaが含まれるが、プログラミング言語のJavaとはまったく別物である。

科目の概要： JavaScriptと高度な機能を簡単に使えるようにしたライブラリであるjQueryの二つを中心に学ぶ。JavaScript、jQueryともに、プログラミングの素養が必要である。教科書に沿って授業を進める。

学修目標： 授業では基本的な内容について説明し、演習問題を学生が解く形式で進める。課題を毎回出題する。課題を自身で解くことにより、動きのあるWebページ作成技術を実践的に身につけることができる。提出された課題により、成績評価を行う。

内容	
1	オリエンテーション, 環境準備, 簡単なJavaScriptプログラムの作成
2	アラートボックス, 確認ボックス - if
3	確認ボックス - 変数, 四則演算
4	比較演算子, 論理演算子
5	while
6	for, 配列
7	連想配列, イベント
8	ID属性, if else, switch
9	関数, オブジェクト
10	Firebug, JavaScriptのオブジェクト指向
11	jQuery, クリックすると開くツールボックス
12	開閉できるツールボックス
13	ボタンをロールオーバーする
14	拡大画像をポップアップ表示する
15	複数画像のポップアップ, フォームの入力チェック

#### 評価

毎回の演習課題を100点満点で評価し、すべての課題の得点の平均点が60点以上を合格とする。

課題へのフィードバックとして、課題提出サーバに採点結果を掲載する。

## 授業外学習

【事前予習】教科書を事前に読み、必要な前提知識を復習しておくことで授業内容をよく理解することができる。

【事後学修】授業で行った課題で使った方法、内容をよく復習することが大事である。授業内容がプログラミングであるので、後になるほどそれまでに学習した内容を理解していることが前提となる。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書 たにぐちまこと「よくわかるJavaScriptの教科書」マイナビ。定価：本体2,480円＋税。教科書はあるほうがよいが、必須ではない。

科目名	アニメーション入門		
担当教員名	仁藤 潤		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状（情報）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

#### 科目の性格

本科目は、短編アニメーション制作に関心のある学生向けの内容である。

#### 科目の概要

「プロット 絵コンテ 動画制作 ポスプロ（編集、サウンドデザイン） 上映」という映像制作のプロセスを学んでいく。

#### 学修目標（=到達目標）

- ・短編アニメーション制作を1人で行えるようになる。

#### 内容

1	ガイダンス
2	短編アニメーションの世界 1
3	短編アニメーションの世界 2
4	最終課題 企画 グループ分け
5	最終課題 企画書作成
6	最終課題 企画書発表
7	最終課題 コンテ作成
8	最終課題 コンテ完成
9	最終課題 制作 1
10	最終課題 制作 2
11	最終課題 中間発表会
12	最終課題 制作 3
13	最終課題 制作 4
14	最終課題 仕上げ
15	最終課題 発表会

#### 評価

課題点：80% 授業に対する意欲・関心・態度：20%

総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】デジタル一眼レフカメラの操作に慣れておくことが望ましい。

Adobe Premiere Pro等の映像編集ソフトの操作に慣れておくことが望ましい。

サウンド編集ソフトの操作に慣れておくことが望ましい。

【事後学修】課題（プロット・コンテ作成）、作品制作をコツコツと計画的に進める。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使用しない

【推薦書】授業時に指示する。

【参考図書】アニメーションの本 動く絵を描く基礎知識と作画の実際

科目名	デジタルビデオ編集		
担当教員名	村上 博泰		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

「だれでも、どこでも簡単にビデオ編集」という性格の授業なので、特にほかの学科を受講する必要はありませんが、グラフィックス関連科目の授業を受けていると親しみやすいこともあります。

#### 科目の概要

ハードウェア・ソフトウェアの基盤技術の進歩とともに、デジタルビデオ画像はコンピュータで編集することが容易になり、テレビで視聴されるだけでなく、インターネット上で配信されたり、プレゼンテーションでの利用や教育用のショートコンテンツとしても利用できるようになりました。本科目では、家庭のビデオ作品の編集だけでなく、研究発表等様々な場面で使用するビデオ画像を自由に編集できるように学修していきます。

#### 学修目標 (= 到達目標)

様々な素材利用方法、ビデオ画像の編集機能、ビデオ画像の出力方法を学修します。ソフトウェアを自由に使いこなすために、ビデオ画像の基礎技術用語を理解できるようにします。( 演習授業ですが、必然的に説明も多くなります。 )

#### 内容

1	デジタルビデオ編集とは
2	デジタルビデオ画像の説明、授業・演習の進め方 ( ビデオ編集特有の制限 ) と簡単な編集
3	DV画像キャプチャの説明とストーリーボード機能およびWindowsLiveムービーメーカーの説明
4	基本的なタイムライン編集 1
5	基本的なタイムライン編集 2
6	基本的なタイムライン編集 3
7	シーンの切り替え機能 ( トランジション ) とムービー出力
8	ビデオエフェクトとキーフレームを使用したエフェクトのアニメート化
9	タイトルの作成方法 ( テキストのクロール、ロール、静止 )
10	スーパーインポーズと合成
11	素材を使った自由課題
12	教育用素材の編集と補足事項 ( トラックマットキーの使用 )
13	ムービー出力とプレゼンテーションへのビデオ画像の組み込み
14	最終編集課題
15	まとめと補足 ( アルファチャンネルつきビデオの説明など )

#### 評価

各授業ごと提出課題の合計点を 80%、平常点を 20% として総合評価を行い、60 点以上を合格とします。

## 授業外学習

【事前予習】各回ごとの授業資料に目を通す程度。

【事後学修】疑問点があれば、メールなどで質問する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない、必要に応じてファイルを配布する。

【推薦書】特に指定しない。

【参考図書】特に指定しない。

科目名	コンピュータミュージック		
担当教員名	小西 真理		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格...コンピュータを使った音楽制作、音声の編集などを実習形式で学びます。

近年、自宅あるいはオフィスで音楽 ( 音声 ) コンテンツを作り、発信するということがもはや決して特別なことではなくなり、それらのコンテンツや音楽ファイルの適切な取扱いができることは社会人として重要なスキルのひとつとなっています。このクラスではCubase Elements 6を導入し、最新のDAW ( デジタル・オーディオ・ワークステーション ) の世界を体験的に学習します。

#### 科目の概要

1. DTM ( デスクトップ・ミュージック ) = コンピュータを使用した音楽制作の基礎を実習的に学ぶ。
2. MIDI という規格をつかった音楽制作を中心に学ぶ。

MIDI オーディオサンプルデータの利用 オーディオミックスファイルの制作 オーディオCD制作  
という手順でDTMの基礎を身につける。

#### 学修目標

1. 規制楽曲の楽譜をもとにMIDI入力をつかった音楽制作を学ぶ
2. MIDI入力したデータをオーディオに変換し、オーディオミックスダウンを実践する
3. オーディオループを利用してサンプルの組み合わせによる音楽制作を学ぶ。
4. MIDI入力、オーディオループに加えてオリジナルメロディを加えることでオリジナル音楽作品の制作を体験する

#### 内容

一見難しそうに思われるかもしれませんが皆さん楽しみながらクリアしています。しっかりとガイドしますので安心して参加して下さい。ピアノ、電子オルガンなどの楽器経験がなくても大丈夫です。

1	ガイダンス、スタートアップ
2	MIDI レコーディングとエディット(1)～ステップ入力～キーエディタ
3	MIDI レコーディングとエディット(2)～ステップ入力～キーエディタ
4	MIDI レコーディングとエディット(3)～ステップ入力～スコアエディタ
5	MIDI レコーディングとエディット(4)～リアルタイム入力
6	MIDI レコーディングとエディット(5)～ドラム入力
7	MIDI レコーディングとエディット(6)～ドラム入力
8	MIDI レコーディングとエディット(7)～スコア課題
9	MIDI レコーディングとエディット(8)～スコア課題
10	ミックスダウン MIDIデータのオーディオ化
11	オーディオループ素材～オーディオループ素材を使って楽曲を作る
12	創作演習(1)～創作を含むより高度な演習課題
13	創作演習(2)～創作を含むより高度な演習課題
14	創作演習(3)～創作を含むより高度な演習課題 ミックスダウン
15	まとめ 必要に応じWindows Media Playerを使ったCDライティング



## 評価

平常点60% 提出物40%とし、総合評価60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】特に必要ありません

【事後学修】特に必要ありません

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

web上のテキストをダウンロードして使用します。

推薦図書（必須ではない）

・ 書籍（ガイドブック）

「Cubase Series 徹底操作ガイド」 株式会社 リットーミュージック

科目名	デジタル色彩		
担当教員名	川瀬 基寛		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

生活情報学科専門科目である。

色彩の基礎からデジタル色彩の基礎、デジタル画像の基礎知識を学習し、配色トレーニングを実践する。

#### 科目の概要

コンピュータを使用したデザインやCG、Web制作が増える中、一般的な色彩理論に加えデジタル上での色彩の違いを認識して表現する事が必要となってきた。そのためコンピュータで扱うデジタル画像やデジタル色彩も踏まえて、配色の基礎知識を学習して実践的なトレーニングとして配色演習を行う。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

- ・ 色彩の基礎の理解
- ・ デジタル色彩の基礎の理解
- ・ 配色手法の理解

#### 内容

12色以上の色鉛筆、のり、はさみ等が必要になります。カラーチャートはこちらで準備します。

上記が必要な場合、授業内でアナウンスします。

進行具合により内容を変更する場合があります。

1	ガイダンス、色彩とその役割
2	色の基礎特性
3	デジタル画像の基礎
4	色のデジタル表現とその役割
5	色彩の法的規制、流行色
6	カラーリサーチの理論と手法、配色演習基礎
7	色彩生理学と色の意味、トーン概念、配色演習基礎
8	カラーイメージチャートの仕組み、色のイメージ、配色演習基礎
9	様々な配色の技法、配色演習基礎
10	配色トレーニング (イメージ、喜怒哀楽)
11	配色トレーニング (意思を伴う感情) (五感)
12	SD法による色彩計画、配色トレーニング (SD法による簡易イメージカラー)
13	環境と建築の色彩、環境色彩学、配色トレーニング (景観のカラー表現)
14	色彩とアナロジー、配色トレーニング (面分割のカラー表現)
15	まとめ

## 評価

演習課題(30%)、リアクションペーパー(15%)、期末試験(40%)、授業参加度(15%)とし、総合評価60点以上を合格とする。  
指定(色鉛筆やカラーチャート)以外での演習課題は評価しません。

## 授業外学習

【事前準備】次回の関連事項を確認し、学習すべき内容を確認しておくこと。

【事後学修】資料を良く読み復習することで、学習した内容をしっかり身につける。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】必要に応じてプリントを配布

【推薦書】授業内で提示

【参考図書】授業内で提示

色鉛筆やカラーチャートに関しては、第1回目の授業で指示する。

科目名	コンピュータグラフィックス		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

グラフィックスソフトウェアの基本となる科目であり、デジタルアニメーション演習やWeb動画演習をこのあと学修します。

今日の社会でコンピュータグラフィックス ( C G ) 技術は、印刷・出版業界だけでなくあらゆる分野で活用されており、C G 技術は不可欠なものとなっています。

この科目では、2次元でのデジタル画像の作成と加工、編集等について学びます。この演習を通じて、ラスター画像とベクトル画像の差異と特徴について学び、目的に合致したC G 作成方法やC G 合成などに関するグラフィックス技術の基礎を習得することが学修目標となります。

内容	
1	2次元コンピュータグラフィックスとは
2	自由曲線と基本図形の描画
3	ベジェ曲線
4	図形の変形・編集
5	文字に関するデザイン機能
6	ブレンド、クリッピングマスク、複合パス機能
7	精密な描画1 ( グリッドとガイドの利用 )
8	精密な描画2 ( ビットマップ画像の利用 )
9	画像のトレースとイラスト作成
10	ビットマップ画像の選択範囲作成
11	ビットマップ画像の切り抜きと合成
12	ビットマップ画像の調整機能 ( 色調補正・フィルターなど )
13	ウェブページデザインワークフロー 1
14	ウェブページデザインワークフロー 2
15	まとめ、ビットマップ画像総合課題

評価

各授業ごと提出課題の合計点を80%、平常点を20%として総合評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回授業内容の確認

【事後学修】課題作成と提出

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定しない。必要に応じてファイルを配布する。

科目名	コンピュータグラフィックス		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

グラフィックスソフトウェアの基本となる科目であり、デジタルアニメーション演習やWeb動画演習をこのあと学修します。

今日の社会でコンピュータグラフィックス ( C G ) 技術は、印刷・出版業界だけでなくあらゆる分野で活用されており、C G 技術は不可欠なものとなっています。

この科目では、2次元でのデジタル画像の作成と加工、編集等について学びます。この演習を通じて、ラスター画像とベクトル画像の差異と特徴について学び、目的に合致したC G 作成方法やC G 合成などに関するグラフィックス技術の基礎を習得することが学修目標となります。

内容	
1	2次元コンピュータグラフィックスとは
2	自由曲線と基本図形の描画
3	ベジェ曲線
4	図形の変形・編集
5	文字に関するデザイン機能
6	ブレンド、クリッピングマスク、複合パス機能
7	精密な描画1 ( グリッドとガイドの利用 )
8	精密な描画2 ( ビットマップ画像の利用 )
9	画像のトレースとイラスト作成
10	ビットマップ画像の選択範囲作成
11	ビットマップ画像の切り抜きと合成
12	ビットマップ画像の調整機能 ( 色調補正・フィルターなど )
13	ウェブページデザインワークフロー 1
14	ウェブページデザインワークフロー 2
15	まとめ、ビットマップ画像総合課題

評価

各授業ごと提出課題の合計点を80%、平常点を20%として総合評価を行い、60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】前回授業内容の確認

【事後学修】課題作成と提出

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定しない。必要に応じてファイルを配布する。

科目名	3次元CG		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

今日のコンピュータ利用分野でコンピュータグラフィックスは大きな割合を占めている。この科目では3Dグラフィックスの作成、加工、編集等について学ぶ。立体のモデリング、質感の設定、ライティング、レンダリングなど3Dグラフィックス作成の流れを習得していく。また、アニメーション作成についても取り扱う。

#### 内容

演習形式で以下に示すテーマについて進めて行く。

1. 3次元グラフィックスとは
2. 基本図形の作成
3. ベジェ曲線の操作
4. 立体化技法の操作 1
5. 立体化技法の操作 2
6. 立体化技法の操作 3
7. 立体の変形と合成
8. 質感設定とマッピング技法
9. ライティング
10. カメラワーク
11. レンダリング
12. アニメーション作成
13. アニメーション作成
14. その他のアニメーション技法 (カメラオブジェクト)
15. その他のアニメーション技法 (インバースキネマティックス)

#### 評価

提出課題(80%)と授業への取り組み姿勢(20%)により得点化を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

前回の内容を復習し、授業ごとの課題を期限内に提出する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。



科目名	3次元CG		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

今日のコンピュータ利用分野でコンピュータグラフィックスは大きな割合を占めている。この科目では3Dグラフィックスの作成、加工、編集等について学ぶ。立体のモデリング、質感の設定、ライティング、レンダリングなど3Dグラフィックス作成の流れを習得していく。また、アニメーション作成についても取り扱う。

#### 内容

演習形式で以下に示すテーマについて進めて行く。

1. 3次元グラフィックスとは
2. 基本図形の作成
3. ベジェ曲線の操作
4. 立体化技法の操作 1
5. 立体化技法の操作 2
6. 立体化技法の操作 3
7. 立体の変形と合成
8. 質感設定とマッピング技法
9. ライティング
10. カメラワーク
11. レンダリング
12. アニメーション作成
13. アニメーション作成
14. その他のアニメーション技法 (カメラオブジェクト)
15. その他のアニメーション技法 (インバースキネマティックス)

#### 評価

提出課題(80%)と授業への取り組み姿勢(20%)により得点化を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

前回の内容を復習し、授業ごとの課題を期限内に提出する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

科目名	データベース入門		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

「データベース基礎」とともにデータベースに関する授業であり、ネットワークの普及とともに身近になってきているデータベースについて学びます。

身近なデータベースとしては、Excel やアクセスでの住所録の管理にデータベースが使われています。古くは銀行のシステムや図書館情報システムで、最近では、音楽配信や旅行検索、ネットショッピングのシステムを構築するのにデータベースは欠かせなくなっています。更に、最近では、インターネットで検索できる全てのデータを1つの大きなデータベースと見て検索できるように、世界的な基準作りが行われています。

大量のデータを高速に間違いなく、容易に、安全に利用するために、データベース管理システムにはどのような技術が工夫されているかを理解する授業です。

Excelでのデータベース管理とリレーショナルデータベースでのデータ管理の違いを理解し、基本的なデータベース管理機能について学ぶ授業であり、基礎的な授業です。

#### 内容

Excel でのデータベース管理を学んだあと、Access を使い簡単なデータベースを作成する。作成したデータベースでデータ管理システムの技術的な工夫について実際に確認しながら、実習と平行して講義を進める。

1	データベースとは
2	Excelでのデータベース管理とリレーショナルデータベースについて
3	Access によるデータベースの作成演習 ( テーブルの作成 )
4	Access によるデータベースの作成演習 ( 複数テーブルの作成 )
5	Access によるデータベースの作成演習 ( クエリ処理 )
6	Access によるデータベースの作成演習 ( クエリ処理 )
7	Access によるデータベースの作成演習 ( フォーム、レポートの作成 )
8	Access の総合演習課題
9	リレーショナル代数 ( 和演算、差演算、積演算、商演算 )
10	リレーショナル代数 ( 選択演算、射影演算、結合演算 )
11	DBMS ( 正規化 )
12	DBMS ( 整合性 )
13	DBMS ( 排他制御 )
14	DBMS ( 障害回復 )
15	まとめ

#### 評価

授業に対する意欲・関心・評態度と授業中に出す演習課題 ( 40点 ) と総合課題 ( 30点 ) とテストまたはレポート ( 30点 ) の成績で評価し、60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】 教科書の授業で行うところを簡単に読み、次回行うことは何なのか把握しておく

【事後学修】 授業で行ったことで、新しく出てきた項目について復習する。総合演習で、これらの応用問題が出てくるので、その時、教科書のどこを見直したらよいかわかるようにしておく。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】よくわかるAccess2013基礎 FOM出版

科目名	データベース入門		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

「データベース基礎」とともにデータベースに関する授業であり、ネットワークの普及とともに身近になってきているデータベースについて学びます。

身近なデータベースとしては、Excel やアクセスでの住所録の管理にデータベースが使われています。古くは銀行のシステムや図書館情報システムで、最近では、音楽配信や旅行検索、ネットショッピングのシステムを構築するのにデータベースは欠かせなくなっています。更に、最近では、インターネットで検索できる全てのデータを1つの大きなデータベースと見て検索できるように、世界的な基準作りが行われています。

大量のデータを高速に間違いなく、容易に、安全に利用するために、データベース管理システムにはどのような技術が工夫されているかを理解する授業です。

Excelでのデータベース管理とリレーショナルデータベースでのデータ管理の違いを理解し、基本的なデータベース管理機能について学ぶ授業であり、基礎的な授業です。

#### 内容

Excel でのデータベース管理を学んだあと、Access を使い簡単なデータベースを作成する。作成したデータベースでデータ管理システムの技術的な工夫について実際に確認しながら、実習と平行して講義を進める。

1	データベースとは
2	Excelでのデータベース管理とリレーショナルデータベースについて
3	Access によるデータベースの作成演習 ( テーブルの作成 )
4	Access によるデータベースの作成演習 ( 複数テーブルの作成 )
5	Access によるデータベースの作成演習 ( クエリ処理 )
6	Access によるデータベースの作成演習 ( クエリ処理 )
7	Access によるデータベースの作成演習 ( フォーム、レポートの作成 )
8	Access の総合演習課題
9	リレーショナル代数 ( 和演算、差演算、積演算、商演算 )
10	リレーショナル代数 ( 選択演算、射影演算、結合演算 )
11	DBMS ( 正規化 )
12	DBMS ( 整合性 )
13	DBMS ( 排他制御 )
14	DBMS ( 障害回復 )
15	まとめ

#### 評価

授業に対する意欲・関心・評態度と授業中に出す演習課題 ( 40点 ) と総合課題 ( 30点 ) とテストまたはレポート ( 30点 ) の成績で評価し、60点以上を合格とする。

## 授業外学習

【事前予習】 教科書の授業で行うところを簡単に読み、次回行うことは何なのか把握しておく

【事後学修】 授業で行ったことで、新しく出てきた項目について復習する。総合演習で、これらの応用問題が出てくるので、その時、教科書のどこを見直したらよいかわかるようにしておく。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】よくわかるAccess2013基礎 FOM出版

科目名	データベース基礎		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

前期に学んだデータベース入門に続く授業であり、データベースに関する一連の授業でネットワークの普及とともに身近になってきているデータベースについて学びます。

情報システムを構成する主要な技術にデータベース管理システムがある。この授業では、実際にデータベースにデータを入力したり、検索したりするためのデータベースプログラミングについて実習を中心に行う。

データベース管理にはSQLという言語を利用し、SQLの学習とともに、ネットワークを介したデータベースについての操作についても学ぶ。

SQL言語を通して、データベースプログラミングの基礎を理解する。

#### 内容

1	データベースとは
2	リレーショナルデータベースの復習
3	リレーショナルデータベースとSQL言語の基礎
4	クエリーの基本操作
5	いろいろな関数 1
6	いろいろな関数 2
7	テーブル作成の基本操作
8	まとめ 1 応用課題
9	複雑なクエリーの操作 1
10	複雑なクエリーの操作 2
11	データを守る仕組み 1
12	データを守る仕組み 2
13	応用課題
14	応用課題
15	まとめ 2

#### 評価

毎回の授業の課題 50% とまとめの課題 50% で評価し、60% 以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】教科書の次回行うところを簡単に読み、次回の話題は何なのか把握しておく

【事後学修】毎回出される課題を仕上げるとともに、新しく出てきた項目についてどこを見ればわかるか把握しておく。応用課題を行うときに、自分で教科書を見ながら行えるようにしておく。応用課題をしているときに、授業で行ってきたことが身につくようになる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

データベースがみるみるわかる9つの扉 SQLの絵本 （株）アネク著 SHOEISHA

科目名	ネットワーク基礎		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修* , 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状（情報）		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

情報分野におけるネットワークについての専門知識を学ぶ。特に、インターネットの基盤技術であるTCP/IPネットワークに関する基礎的で技術的な知識を学ぶ。ネットワークにコンピュータを接続して通信を行うときに使われる技術を中心に学ぶ。

インターネットの接続技術を中心に学ぶ。インターネット検定ドットコムマスタ の「インターネットの仕組みと関連技術」「インターネット接続の設定とトラブル対処」「Webブラウザとメールクライアントの設定と使いこなし」に相当する内容と難易度である。

授業の内容を理解するとともに、理解を助けるために授業時間内および時間外に行う形式の問題を解くことにより、単位修得可能な知識を身につけることができる。

#### 内容

- 第1回：ネットワークとは
- 第2回：通信プロトコル，OSI参照モデル
- 第3回：IPアドレスとサブネットマスク
- 第4回：サブネット分割，ネットワークアドレス，ブロードキャストアドレス
- 第5回：ネットワーク層
- 第6回：トランスポート層
- 第7回：LANの技術，無線LAN
- 第8回：ルーティング
- 第9回：サーバ，WWW，DNS
- 第10回：アプリケーション関連技術 メール，HTTP，HTML
- 第11回：インターネット接続の技術 ファイアウォール，FTP，NTP
- 第12回：IPv6
- 第13回：インターネットへの接続
- 第14回：ブロードバンドルータ
- 第15回：まとめ

#### 評価

複数回行う試験の結果を総合的に評価する。合格点は60点以上である。試験の採点結果は返却する。

#### 授業外学習

- 【事前予習】教科書を読んで予習を行う。
- 【事後学修】授業内容の復習を行う。



教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書：

「インターネット検定ドットコムマスター アドバンス公式テキスト」，NTTコミュニケーションズ．3400円（税別）．

科目名	インターネットとセキュリティ		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状(情報)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

情報分野におけるネットワーク, 特にセキュリティについての基礎的な知識を学ぶ。インターネット検定ドットコムマスタのシラバスのうち「セキュリティ」, 「サービスの利用と法律に関する知識」をカバーする。2年前期の「ネットワーク基礎」を受講済みであることが望ましい。

情報セキュリティの3つの要素, すなわち, 脅威, 脅威に対抗するための基盤技術である暗号技術と公開鍵暗号基盤, 脅威からネットワークや通信を守るための対策技術について学ぶ。

次の内容を理解することにより試験に合格し, 単位修得が可能となる。

- ・情報セキュリティの考え方
- ・脅威の種類と内容
- ・暗号技術と使い方
- ・セキュリティ対策技術
- ・セキュリティに関する標準化動向と法律

#### 内容

第1回: セキュリティとは何か

第2回: 暗号技術とPKI(1) 共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式

第3回: 暗号技術とPKI(2) ハッシュ関数, 電子署名, PKI

第4回: 暗号技術とPKI(3) セキュリティプロトコル

第5回: PC利用時の脅威とその対策

第6回: LAN利用時の脅威とその対策

第7回: インターネット利用時の脅威とその対策(1) 脅威の種類

第8回: インターネット利用時の脅威とその対策(2) Web

第9回: インターネット利用時の脅威とその対策(3) メール

第10回: インターネット上のサービス

第11回: 情報交換や発信に関する知識 SNS, ブログ

第12回: インターネット利用に関するマナー Web, メール, オンラインショップ

第13回: インターネットに関する知識と法律 プライバシ, 通信関連法, 著作権,

第14回: インターネットとセキュリティに関する問題演習

第15回: まとめ

#### 評価

複数回行う試験の総合点で評価する。60点以上を合格とする。わずかな点数不足で合格点に満たない場合には, 再試験を行うことがある。採点結果は返却する。

## 授業外学習

【事前予習】教科書の予習を行う。

【事後学修】教科書の復習を行う。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

### 教科書

インターネット検定ドットコムマスタ アドバンス 公式テキスト NTTコミュニケーションズ 税抜3400円

科目名	ネットワーク設定		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

情報分野におけるネットワークについて、パソコンを接続し利用するための基礎的な知識と技術を演習を通して学ぶ。2年前期の「ネットワーク基礎」で学ぶ内容を、演習や実験を通して実際のネットワークでどのように使われているのかを理解する。

コンピュータをネットワークに接続して利用する際の手順と技術について理解する。ほぼ毎回、通信技術を理解するための実験を行う。

配付資料にしたがって設定と実験を行うことにより、TCP/IPネットワークの仕組みを基礎から理解することができる。

内容	
1	ネットワーク設定情報とネットワーク資源へのアクセス
2	ユーザ登録、コンピュータ名、IPアドレスの設定
3	ドメイン名の設定、NATとブリッジ
4	ファイル共有、IPアドレスに関する実験
5	デフォルトゲートウェイの役割
6	サブネットマスクの役割
7	リモートログインとポート番号
8	MACアドレスとルーティングテーブル
9	ICMP
10	名前解決の仕組み (ドメイン名とNetBIOS名の仕組み)
11	リモートデスクトップ接続とtelnet
12	LANアナライザ
13	非暗号通信と暗号通信
14	ファイル転送プロトコルftp
15	メールクライアントの設定、メールプロトコルSMTPとPOP

#### 評価

毎回の演習課題を100点満点で評価し、すべての課題の得点の平均点が60点以上を合格とする。

課題へのフィードバックとして、課題提出サーバに採点結果を掲載する。

#### 授業外学習

【事前予習】2年前期の「ネットワーク基礎」の学習内容を復習しておくこと、内容をよく理解することができる。

【事後学修】課題で行ったことの意味を理解する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 教科書は使用しない。

科目名	ネットワーク設定		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

情報分野におけるネットワークについて、パソコンを接続し利用するための基礎的な知識と技術を演習を通して学ぶ。2年前期の「ネットワーク基礎」で学ぶ内容を、演習や実験を通して実際のネットワークでどのように使われているのかを理解する。

コンピュータをネットワークに接続して利用する際の手順と技術について理解する。ほぼ毎回、通信技術を理解するための実験を行う。

配付資料にしたがって設定と実験を行うことにより、TCP/IPネットワークの仕組みを基礎から理解することができる。

#### 内容

1	ネットワーク設定情報とネットワーク資源へのアクセス
2	ユーザ登録、コンピュータ名、IPアドレスの設定
3	ドメイン名の設定、NATとブリッジ
4	ファイル共有、IPアドレスに関する実験
5	デフォルトゲートウェイの役割
6	サブネットマスクの役割
7	リモートログインとポート番号
8	MACアドレスとルーティングテーブル
9	ICMP
10	名前解決の仕組み (ドメイン名とNetBIOS名の仕組み)
11	リモートデスクトップ接続とtelnet
12	LANアナライザ
13	非暗号通信と暗号通信
14	ファイル転送プロトコルftp
15	メールクライアントの設定、メールプロトコルSMTPとPOP

#### 評価

毎回の演習課題を100点満点で評価し、すべての課題の得点の平均点が60点以上を合格とする。

課題へのフィードバックとして、課題提出サーバに採点結果を掲載する。

#### 授業外学習

【事前予習】2年前期の「ネットワーク基礎」の学習内容を復習しておくこと、内容をよく理解することができる。

【事後学修】課題で行ったことの意味を理解する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 教科書は使用しない。

科目名	サーバ設定		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

情報分野におけるネットワークに関する専門知識を演習を通して学ぶ。本科目では、代表的なオペレーティングシステムの一つであるLinux (UNIX系OS) について、その機能・操作方法を学ぶ。さらに、応用としてLinux上でのサーバ設定技術を学ぶ。Linuxの操作は、ほとんどすべてがテキストによるコマンド操作である。サーバ設定は、一般利用者が行うことは前提としておらず、マウスとウィンドウ操作で可能なことは少ない。将来ソフトウェア開発に携わる場合、サーバとして使われることが多いLinuxを操作できることは役に立つであろう。

#### 科目の概要

Linuxの特徴、ディレクトリ・ファイル操作等の基本コマンド、便利な機能、もっとも身近でよく利用されているWebサーバ、メールサーバの構築を行う。

#### 学修目標

演習を通して、コマンドによる基本操作、サーバ構築の基本概念を理解できるようになることを目指す。

内容	
1	UNIX (Linux) の概要, ディレクトリ構造, MS-DOSコマンド
2	ログイン・ログアウト, パスワード設定, ユーザ・グループ管理
3	ディレクトリ・ファイルの操作
4	アクセス権
5	viエディタによるファイルの編集
6	ファイルの内容表示
7	リダイレクト・パイプ処理, テキストの並べ替え・検索
8	コマンドの履歴, エイリアス
9	Linuxにおけるネットワーク管理
10	ftpサーバを例にしたLinuxにおけるサーバ管理
11	SSL/TLSを使ったftpの暗号化
12	Webサーバ構築
13	Webサーバのセキュリティ強化 認証と暗号化
14	メールサーバ構築 SMTP, POP3, IMAP
15	メールクライアントを使ったメールの送受信

#### 評価

毎回の演習課題を100点満点で評価し、全課題の平均点が60点以上を合格とする。

課題へのフィードバックとして、課題提出サーバに採点結果を掲載する。



## 授業外学習

【事前予習】前の回までに学んだコマンド等を自分で使えるようにする。

【事後学修】コマンドやサーバ構築法について，応用することができるようにする。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】使わない。

科目名	ソフトウェア基礎		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

情報関連の専門科目を学ぶ基礎として、コンピュータの働きや仕組みについてソフトウェアの視点から学ぶ。

#### 科目の概要

コンピュータが情報をどのように扱うかを理解するとともに、オペレーティングシステムやアプリケーション等のソフトウェアの働きや分類、各プログラミング言語の特徴、アルゴリズムを学ぶうえで重要なツールとなるフローチャートや基本的なアルゴリズムについて学ぶ。

#### 学修目標 (= 到達目標)

コンピュータが情報をどのように扱うかを理解する

ソフトウェアの種類、プログラミング言語の特徴を理解する

アルゴリズムを学ぶ基礎を習得する

#### 内容

1	ソフトウェアの種類、OS
2	プログラミング言語の特徴
3	位取り・係数・基数、基数変換(n進数 10進数)
4	基数変換(10進数 n進数)
5	基数変換(2進数 8進数 16進数)
6	演習
7	加法、補数と減法
8	固定小数点形式と浮動小数点形式
9	シフト演算
10	誤差・浮動小数点の演算精度・算術あふれ
11	文字データの表現
12	アルゴリズム (フローチャート、トレース)
13	演習
14	まとめ
15	総合演習

#### 評価

以下のふたつの評価方法のうち、高得点の方を総合評価とし、総合評価60点以上を合格とする。

・演習 : 25% + 演習 : 25% + 総合演習 : 50%

・総合演習：100%

【フィードバック】演習は翌週以降の授業で返却・解説する。

#### 授業外学習

【事前予習】授業資料をダウンロードし、事前に目を通しておく。

【事後学修】講義内容を復習し、理解を深めるために自習問題を解く。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

##### 【教科書】

テキストは使用せず、毎回プリントを配布する。

講義で使用する配布資料・説明資料は総合教育システムで提供する。

科目名	ハードウェア基礎		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

コンピュータのハードウェアと多様な周辺装置の基礎的知識を学ぶことにより、今後のコンピュータ 学習への基礎的な能力の育成します。

これからの社会生活に必要な不可欠なコンピュータの基礎的な仕組みを知り、自分の目的に合ったコン ピュータ活用ができるようにしていきます。

1. コンピュータの基本的な構成要素を理解する。
2. コンピュータ動作の原理を理解する。
3. 主要な装置と周辺機器のしくみを理解する。
4. コンピュータのメンテナンスを自らの手で行える力を身につける。

#### 内容

1	コンピュータの概要とハードウェア
2	コンピュータ発展の歴史
3	コンピュータ各部の名称と働き
4	C P U 1 ( 動作原理、クロック、命令の流れ )
5	C P U 2 ( 高速化技術、パイプラインとスーパースケラ )
6	メモリ 1 ( メモリの種類 )
7	メモリ 2 ( メモリの特徴 )
8	入力装置 ( キーボード、マウス等 )
9	補助記憶装置 1 ( ハードディスク、フロッピーディスクの動作 )
10	補助記憶装置 2 ( C D - R O M、M O )
11	補助記憶装置 3 ( U S Bメモリ等 )
12	出力装置 1 ( C R Tディスプレイ、液晶ディスプレイ )
13	出力装置 2 ( カラープリンタ、ページプリンタ等 )
14	コンピュータのメンテナンス方法
15	まとめ

#### 評価

授業での小テスト ( 30% ) と筆記試験 ( 70% ) により得点化を行い、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】前回授業内容の確認

【事後学修】今回授業の振り返り

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

科目名	情報数学		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(J)-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状(情報)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

ソフトウェア基礎で学んだ内容を振り返りながら、情報関連科目を学ぶ上で必要となる数学や効率化手法の基礎について学ぶ。

#### 科目の概要

コンピュータの仕組みを理解し効率的に活用する上で役立つ、オペレーションズリサーチの手法や集合、ブール代数、論理演算、論理回路等について学び、問題演習を通してその定着を図る。

#### 学修目標(=到達目標)

- ・情報関連科目を学ぶ上で必要となる数学の基礎を理解する
- ・様々な分野で活用できる効率化手法の基礎を理解する

内容	
1	ガイダンス(授業の進め方、概要など)
2	集合
3	場合の数と順列・組合せ
4	ブール代数
5	カルノー図
6	論理回路
7	演習
8	加算回路とその他の論理演算・論理回路
9	日程計画問題とPERT(1)
10	日程計画問題とPERT(2)
11	マルチプログラミングとガントチャート
12	線形計画問題とグラフ解法
13	演習
14	まとめ
15	総合演習

#### 評価

以下のふたつの評価方法のうち、高得点の方を総合評価とし、総合評価60点以上を合格とする。

- ・演習 : 25% + 演習 : 25% + 総合演習 : 50%
- ・総合演習 : 100%

【フィードバック】演習は翌週以降の授業で返却・解説する。

## 授業外学習

【事前予習】ソフトウェア基礎等で取り上げられた関連内容を事前に確認しておく。

【事後学修】講義内容を復習し、理解を深めるために自習問題を解く。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

### 【教科書】

テキストは使用せず、毎回プリントを配布する。

講義で使用する配布資料・説明資料は総合教育システムで提供する。

科目名	システム設計入門		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

プログラミング作業はシステムの開発の一部にすぎない。プログラミングの前には、要求分析、システム設計、プログラム設計の作業があり、さらに、プログラミングの後には、テストの作業がある。本科目では、システム開発の各作業について基礎的知識を習得する。

#### 科目の概要

ソフトウェアシステムにはどのようなシステムがあるかについて学び、そのシステムを開発するためにはどのようなステップが必要であり、それぞれでどのような作業が行われているのかを学ぶ。また、そのための技法や、ドキュメント作成の必要性についても学ぶ。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

システム開発を効率的に行うにはどのように作業をし、どのような成果物を作成するかを理解する。将来、IT企業やSEを目指すための基礎的理解を深める。

内容	
1	IT技術とは
2	基礎理論
3	アルゴリズムとプログラミング
4	コンピュータ構成要素
5	ソフトウェア
6	ヒューマンインタフェース技術
7	データベース
8	ネットワーク
9	セキュリティ
10	システム開発技術
11	ソフトウェア開発管理技術
12	プロジェクトマネジメント
13	システム戦略
14	経営戦略マネジメント
15	企業活動

#### 評価

中間テスト ( 30% ) と期末テスト ( 50% )、および授業への取り組み姿勢を総合評価し、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前準備】 次回の内容を把握する。



【事後学修】授業内容を復習し、理解を深める。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】初回の授業内で指示する。

科目名	プログラミング入門		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

情報システムの構築・管理・運用またはこれを活用するための知識・技術を獲得するため、プログラミングだけでなくアルゴリズム構築を必要とする科目の基礎となる科目である。

プログラム言語としてJavaを使用する科目の基礎となる科目であり、順次構造、選択構造、反復構造の基本構造のフローチャートとプログラムを学ぶ。フローチャートの復習・作成から始め、フローチャート作成後にプログラム作成を行い基本構造の理解を深める。

出題問題提示 講義 例題 学生同士の問題を出し合い教え合う 類題作成を繰り返す過程に積極的に参加し毎回の授業で理解を深め、フローチャート作成とプログラム基本構造の理解を到達目標とする。

内容	
1	オリエンテーション
2	処理のシナリオを考える
3	シナリオ (分岐、繰り返し)
4	シナリオからフローチャート作成
5	プログラミング環境設定、コンパイル・実行から課題提出方法
6	プログラム作成と画面表示
7	int型変数の宣言と連結表示
8	変数 (実数型、文字型、文字列型) と計算
9	キーボード入力と計算の応用
10	if文 (if-else、if-else if-else)
11	if文の応用 (論理演算とネスト)
12	while文、繰り返しフローチャート
13	do-while文、for文 (繰り返し構文) フローチャート
14	配列とfor文
15	まとめ

#### 評価

課題点 80% 平常点 20% とし、総合評価 60 点以上を合格とする。

【フィードバック】 課題の解答・質疑を次回最初に行い、理解を確かなものにする。

#### 授業外学習

【事前予習】 授業開始時に前回授業で使用した例題を作成・提出してもらうことがあるので復習して作成できるようにしておく。

【事後学修】毎回出題するフローチャート・プログラミング課題を次週までに提出する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

推薦書 著者：柴田 望洋 書名：新・明解Java 入門編 出版社名：SoftBankCreative

推薦書 著者：柴田 望洋、由梨 かつる 書名：解きながら学ぶJava 入門編 出版社名：SoftBankCreative

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	プログラミング入門		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / ウェブデザイン実務士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

情報システムの構築・管理・運用またはこれを活用するための知識・技術を獲得するため、プログラミングだけでなくアルゴリズム構築を必要とする科目の基礎となる科目である。

プログラム言語としてJavaを使用する科目の基礎となる科目であり、順次構造、選択構造、反復構造の基本構造のフローチャートとプログラムを学ぶ。フローチャートの復習・作成から始め、フローチャート作成後にプログラム作成を行い基本構造の理解を深める。

出題問題提示 講義 例題 学生同士の問題を出し合い教え合う 類題作成を繰り返す過程に積極的に参加し毎回の授業で理解を深め、フローチャート作成とプログラム基本構造の理解を到達目標とする。

内容	
1	オリエンテーション
2	処理のシナリオを考える
3	シナリオ (分岐、繰り返し)
4	シナリオからフローチャート作成
5	プログラミング環境設定、コンパイル・実行から課題提出方法
6	プログラム作成と画面表示
7	int型変数の宣言と連結表示
8	変数 (実数型、文字型、文字列型) と計算
9	キーボード入力と計算の応用
10	if文 (if-else、if-else if-else)
11	if文の応用 (論理演算とネスト)
12	while文、繰り返しフローチャート
13	do-while文、for文 (繰り返し構文) フローチャート
14	配列とfor文
15	まとめ

#### 評価

課題点80% 平常点20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】 課題の解答・質疑を次回最初に行い、理解を確かなものにする。

#### 授業外学習

【事前予習】 授業開始時に前回授業で使用した例題を作成・提出してもらうことがあるので復習して作成できるようにしておく。

【事後学修】毎回出題するフローチャート・プログラミング課題を次週までに提出する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

推薦書 著者：柴田 望洋 書名：新・明解Java 入門編 出版社名：SoftBankCreative

推薦書 著者：柴田 望洋、由梨 かおる 書名：解きながら学ぶJava 入門編 出版社名：SoftBankCreative

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	プログラミング初級		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は情報システムの構築・管理・運用またはこれを活用するための知識・技術を獲得するためプログラミング関連科目の基礎に続く応用として位置づけられ、基礎的なプログラミングで学んだ基本構文をベースに、より複雑な処理のプログラミングについて学ぶ。

#### 科目の概要

目的に応じて必要な処理の流れを考え、入出力・演算・条件分岐・反復の基本構文を用いてプログラミングする力に加えメソッド・クラスの基本を課題演習の繰り返しにより養う。

#### 学修目標 (= 到達目標)

出題問題提示 講義 例題 学生同士の問題を出し合い教え合う 類題作成を繰り返す過程に積極的に参加し毎回の授業で理解を深め、必要な処理の流れを考えてプログラミングする力の修得を到達目標とする。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	Eclipse、計算、入出力復習
3	基本構文 ( if文、else if )、ネスト、論理演算、String比較の復習
4	基本構文 ( for文、while文、do-while文 )
5	配列復習
6	復習まとめ
7	final変数、条件演算子、switch文、前置 後置、break文
8	for文多重ループ、多次元配列
9	メソッドの基本・メソッドの引数
10	メソッドの返却値・多重定義
11	メソッドの引数が配列・返却値が配列
12	メソッドまとめ
13	クラス基礎
14	クラス練習、コンストラクタ
15	クラスまとめ

#### 評価

課題点 80% 平常点 20% とし、総合評価 60 点以上を合格とする。

【フィードバック】 課題の解答・質疑を次回最初に行い、理解を確かなものにする。

## 授業外学習

【事前準備】前提となる授業で学んだ関連内容を事前に確認しておく。

【事後学習】毎回出題するフローチャート・プログラミング課題を次週までに提出する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】著者：柴田 望洋 書名：新・明解Java 入門編 出版社名：SoftBankCreative

【推薦書】著者：柴田 望洋、由梨 かおる 書名：解きながら学ぶJava 入門編 出版社名：SoftBankCreative

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	プログラミング初級		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目は情報システムの構築・管理・運用またはこれを活用するための知識・技術を獲得するためプログラミング関連科目の基礎に続く応用として位置づけられ、基礎的なプログラミングで学んだ基本構文をベースに、より複雑な処理のプログラミングについて学ぶ。

#### 科目の概要

目的に応じて必要な処理の流れを考え、入出力・演算・条件分岐・反復の基本構文を用いてプログラミングする力に加えメソッド・クラスの基本を課題演習の繰り返しにより養う。

#### 学修目標 ( = 到達目標 )

出題問題提示 講義 例題 学生同士の問題を出し合い教え合う 類題作成を繰り返す過程に積極的に参加し毎回の授業で理解を深め、必要な処理の流れを考えてプログラミングする力の修得を到達目標とする。

#### 内容

1	オリエンテーション
2	Eclipse、計算、入出力復習
3	基本構文 ( if文、else if )、ネスト、論理演算、String比較の復習
4	基本構文 ( for文、while文、do-while文 )
5	配列復習
6	復習まとめ
7	final変数、条件演算子、switch文、前置 後置、break文
8	for文多重ループ、多次元配列
9	メソッドの基本・メソッドの引数
10	メソッドの返却値・多重定義
11	メソッドの引数が配列・返却値が配列
12	メソッドまとめ
13	クラス基礎
14	クラス練習、コンストラクタ
15	クラスまとめ

#### 評価

課題点 80% 平常点 20% とし、総合評価 60 点以上を合格とする。

【フィードバック】 課題の解答・質疑を次回最初に行い、理解を確かなものにする。



## 授業外学習

【事前準備】前提となる授業で学んだ関連内容を事前に確認しておく。

【事後学習】毎回出題するフローチャート・プログラミング課題を次週までに提出する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】著者：柴田 望洋 書名：新・明解Java 入門編 出版社名：SoftBankCreative

【推薦書】著者：柴田 望洋、由梨 かおる 書名：解きながら学ぶJava 入門編 出版社名：SoftBankCreative

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	プログラミング中級		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 (情報)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

情報システムの構築・管理・運用またはこれを活用するための知識・技術を獲得するため、これまで学んできたJava言語科目プログラミング基礎、プログラミング応用に続く科目である。本科目は単なるプログラム言語の学習から、システム開発を考えたプログラミングスキルの習得に入っていく。

#### 科目の概要

本科目では、Java言語の最大の特徴であるオブジェクト指向プログラミングの書き方について学ぶ。前半は、これまでのJavaの復習を兼ねクラスの概念を学び、後半にオブジェクト指向について学ぶ。

#### 学修目標 (= 到達目標)

出題問題提示 講義 例題 学生同士の問題を出し合い教え合う 類題作成を繰り返す過程に積極的に参加し毎回の授業でJavaの特徴であるオブジェクト指向プログラミングの書き方を理解し、よい ( 分かりやすく、再利用しやすく、修正が容易な ) プログラムを作成できるようになることを到達目標とする。

内容	
1	オリエンテーション
2	for文・配列復習
3	多重ループ・多次元配列
4	メソッド復習、変数boolean型
5	配列を使うメソッドの復習
6	クラス復習
7	ゲッター・セッター・コンストラクタの復習
8	クラス型変数の代入・比較での注意点
9	クラス型変数とコンストラクタの注意点
10	クラスと配列、toStringメソッドとprintlnでの利用
11	クラスやクラス配列を含むクラス
12	クラス変数とクラスメソッド、クラスライブラリ
13	クラス利用まとめ
14	継承
15	多相性・多態性

#### 評価

課題点 80% 平常点 20% とし、総合評価 60 点以上を合格とする。

【フィードバック】 課題の解答・質疑を次回最初に行い、理解を確かなものにする。

## 授業外学習

【事前準備】前提となる授業で学んだ関連内容を事前に確認しておく。

【事後学修】毎回出題するプログラミング課題等を次週までに提出する。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】著者：柴田 望洋 書名：新・明解Java 入門編 出版社名：SoftBankCreative

【推薦書】著者：柴田 望洋、由梨 かおる 書名：解きながら学ぶJava 入門編 出版社名：SoftBankCreative

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	プログラミング上級		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士 / 高等学校教諭一種免許状 ( 情報 )		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

#### 科目の性格

本科目では、これまで学んできた内容を総合的に活用し、Webシステムの構築していく。

#### 科目の概要

今日の業務システムの基本となるWebシステムの実際を学び、オブジェクト指向やデータベースとの連携の方法について理解を深める。

#### 学修目標

Webシステムの作成方法と基本的なシステムの流れを学び、Webシステム構築の基礎力の修得を目指す。

内容	
1	Webシステムの概要と開発環境
2	JSPとは
3	JSPの作成と連携
4	値の受け渡し
5	サーブレットとは
6	サーブレット処理の実際
7	JSPとサーブレットの連携 ( 1 )
8	JSPとサーブレットの連携 ( 2 )
9	データベースの操作
10	データベース活用 ( 1 )
11	データベース活用 ( 2 )
12	Webシステムの作成 ( 1 )
13	Webシステムの作成 ( 2 )
14	Webシステムの作成 ( 3 )
15	まとめ

#### 評価

提出された課題 ( 80% ) と授業への取り組み ( 20% ) により総合的に評価する。

総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

授業で説明した内容を理解し、毎回出題する課題を期限までに提出する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

毎回用意されるプリントに従って授業を進める。

科目名	ゲームプログラミング		
担当教員名	名児耶 厚		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

情報システムの構築・管理・運用またはこれを活用するための知識・技術を獲得するため、多くのシステムで使用され、現在も組み込みシステムやゲーム等でも多く使用されているC言語を学ぶ。

C言語はコンピュータの基本であるアドレスを直接操作可能な言語であり、コンピュータ内でのプログラムの動きを理解するのに適した言語と言える。本授業では、C言語利用の環境設定から始め、C言語での変数・配列の宣言を学ぶ。次にプログラミング基礎で学んだ基本構文の復習を行い、その上で、関数の作成、ポインタの利用、ファイル入出力を学んでいく。

出題問題提示 講義 例題 学生同士の問題を出し合い教え合う 類題作成を繰り返す過程に積極的に参加し毎回の授業で理解を深め、ポインタとファイル入出力の理解を到達目標とする。

内容	
1	オリエンテーション
2	環境設定
3	変数、文字列の扱い
4	printf、scanfによる表示と入力
5	for文、配列
6	多重ループ、多次元配列
7	関数
8	前半まとめ
9	ライブラリ関数
10	ポインタ
11	引数のアドレス渡し
12	ポインタの戻り値
13	ファイル入出力
14	ファイル処理する関数
15	まとめ

#### 評価

課題点80% 平常点20%とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】 課題の解答・質疑を次回最初に行い、理解を確かなものにする。

#### 授業外学習

【事前予習】 授業開始時に前回授業で使用した例題を作成・提出してもらうことがあるので復習して作成できるようにして

おく。

【事後学修】毎回出題するプログラミング課題を次週までに提出する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】著者：柴田 望洋 書名：新・明解C言語 入門編 出版社名：SoftBankCreative

【推薦書】著者：柴田 望洋 書名：新・明解C言語 ポインタ完全攻略 出版社名：SoftBankCreative

【参考図書】著者：柴田 望洋、由梨 かおる 書名：新・解きながら学ぶC言語 出版社名：SoftBankCreative

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	Webアプリケーション		
担当教員名	名児耶 厚		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	上級情報処理士		

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

情報システムの構築・管理・運用またはこれを活用するための知識・技術を獲得するため、ゲームプログラミングで学んだC言語の基礎をもとに、より高度なプログラムを学ぶ。

構造体の宣言、構造体の参照、構造体のポインタ利用、構造体の入れ子を学んでいく。更に、組み込みシステムでも良く利用されるビット演算として、基本的なビット演算、ビットシフト、マスクの使い方を学んでいく。

出題問題提示 講義 例題 学生同士の問題を出し合い教え合う 類題作成を繰り返す過程に積極的に参加し毎回の授業で理解を深め、構造体とビット操作の理解を到達目標とする。

内容	
1	オリエンテーション
2	ポインタ、ファイル入出力、構造体の復習
3	構造体
4	構造体のポインタ
5	メンバとしての構造体
6	ビット演算復習
7	ビット操作
8	マクロ、ヘッダファイル
9	前半まとめ
10	再帰プログラム
11	ポインタポインタ
12	共用体
13	関数へのポインタ
14	メモリの動的確保
15	まとめ

#### 評価

課題点 80% 平常点 20% とし、総合評価 60 点以上を合格とする。

【フィードバック】 課題の解答・質疑を次回最初に行い、理解を確かなものにする。

#### 授業外学習

【事前予習】 授業開始時に前回授業で使用した例題を作成・提出してもらうことがあるので復習して作成できるようにしておく。

【事後学修】 毎回出題するプログラミング課題を次週までに提出する。



教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】著者：柴田 望洋 書名：新・明解C言語 入門編 出版社名：SoftBankCreative

【推薦書】著者：柴田 望洋 書名：新・明解C言語 ポインタ完全攻略 出版社名：SoftBankCreative

【参考図書】著者：柴田 望洋、由梨 かおる 書名：新・解きながら学ぶC言語 出版社名：SoftBankCreative

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	栗原 隆史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Gクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

各自の選択した分野で研究テーマを設定して作品の作成・開発を進めていく。

3年次の演習を基礎として、各自のテーマで研究を進める。

1. ゼミ担当教員の指導を受け、卒業研究テーマを設定する。
2. 研究の内容、方向性および進め方を検討する。
3. 進捗を自己管理し、進捗報告会、中間報告会、卒研発表会で成果をプレゼンテーションする。

#### 内容

研究テーマの設定や研究スケジュールなどを教員と相談しながら決定し、研究に必要なデータ収集や調査、ツールや素材の作成などを進める。

さらに、具体的な作品を作成しながら、内容の検討やブラッシュアップを進めていく。

進捗報告会や中間報告会では、ゼミ担当教員からアドバイスを受けて追加修正作を行い、完成度を高める。

卒研発表会では研究成果をプレゼンテーションするとともに、全体をまとめたレポートを作成する。

#### 評価

日常の取り組み姿勢 ( 10% )、進捗報告会 ( 10% )、中間報告会 ( 20% )、卒研発表会 ( 30% )、レポート ( 10% )、成果物 ( 20% ) を点数化し、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】前回授業内容の確認

【事後学修】今回授業の振り返り

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

特に指定しない。授業の中で適宜指示する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	泉 直子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Bクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

プレゼミ、演習、 に続く授業であり、卒業研究 と合わせて、卒業研究を進める。

卒業研究 では卒業制作の計画を立て、作品制作に取り掛かる。

3年生までのコンピュータに関して学んだことを総合的に理解し、調査、研究し、各自の考え方にに基づきソフトウェアの作品制作を行う。ソフトウェア開発では、まず、どのようなソフトウェアを作るかというアイデアをだす「考える力」、そしてチームでの開発作業に必要な「協調性」が求められる。グループで作品を政策する過程で、ツールやプログラミング言語を使えるようにするだけでなく、ソフトウェアの開発工程を体験することにより、「考える力」や周囲とうまく作業を進める「高い協調性」を身に付けることも大切にする。

本授業では大学で学んだことの総括として、学んだこととアニメーションに関する知識を基に調査、研究、討論し、グループでの協調作業としてアニメーションを作成に取り掛かることができることを目標とする。

#### 内容

まず、ソフトウェア開発のための準備をする。ゼミは基本的に、自分たちで調べたこと、考えたことを発言し、討論する場を多くする。次に、既存のさまざまなアニメーションソフトを使いソフトウェアの比較をし、利点、欠点など批評しあう。既存のゲームソフト、幼児、子供用の学習ソフトを使い、比較することにより、使った人が楽しめるソフト、使いやすいソフトはどのようなソフトか考える。

更に、グループでアニメーションソフトウェアを作る企画を行う。特にFLASH にはこだわらずさまざまなアニメーション作成ツールがあるので、目的にあったツールを使い、アニメーションを作成する。

グループに分かれ、自分たちでどのようなソフトを作るか討論して決め、卒業作品を作成する。

また、アニメーション作成時に体験した問題点を整理し、一般的なソフトウェア作成時の問題点として考えたときどのような問題と解決策があるか整理し、まとめて卒業論文を書くことが望ましい。

#### 評価

発表態度(30 点)、ゼミでの活動状況(30%)、卒業作品(40%)を総合的に判断して評価し、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】平常時から、各自の卒業研究課題に関連した書籍を読んだり関連したソフトを使ったりして、事前準備することが望ましい。

【事後学修】他の学生の卒業研究関連の発表を聞いたときは、関連した本を読んだり、関連した疑問を考え、次回に質問するよう各自、授業以外で学習することが望ましい。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

授業開始時に指定する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	田倉 昭		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Kクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

演習 の研究内容を発展させ、自主的に進める。社会の変化や技術の進歩に合わせて、新たな知識や技術を自ら学び続けられる力を身につける。

学生が主体的に研究計画を立て、それに基づき各自のテーマに沿って研究を行い、最終的にその成果を卒業論文としてまとめる。これらの活動を通して、社会に出て必要とされる業務遂行能力を身につけることをねらいとする。

研究成果を卒業論文としてまとめ、発表することにより、研究遂行能力および社会で必要とされる業務推進手法を学ぶことができる。

#### 内容

次の研究分野を参考に学生が主体的に設定したテーマに沿って、作品等の作成や調査研究を行い、卒業論文の執筆を行う。定期的に進捗報告発表を行う。

1. アプリケーションサービス
2. コミュニケーションサービス
3. セキュリティサービス

#### 評価

定期的に行う進捗報告、卒論発表会での発表内容 ( 50点 )、卒業論文 ( 50点 ) により評価し、総合評価60点以上を合格とする。

進捗報告、発表会の発表についてはフィードバックとしてのコメントを行う。

#### 授業外学習

- 【事前予習】自分の研究計画に合わせて、事前予習を行う。
- 【事後学修】自分の研究計画に合わせて、事後学修を行う。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

適宜紹介する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	藤本 正徳		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Lクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

4年間の学習のまとめと学習成果の活用 演習において学んだ知識と技術を生かし自らテーマ・仮説の設定を行い、調査対象を特定して、これまで学んできた知識を実践に生かす力を養う。

「データや観察に基づいた分析ができる」「分析結果を整理して、論文や図、表などの形で表現できる」「効果的でわかりやすい卒論の発表ができる」

#### 内容

##### 前期

- 1 卒業研究のテーマ確定
- 2 活動計画の作成
- 3 活動の実施（調査など）

##### 後期

- 4 活動の整理
- 5 データ分析
- 6 論文作成
- 7 指導と編集・校正、印刷・製本
- 8 発表資料・プレゼン作成
- 9 発表

#### 評価

通常の活動状況、調査の実践状況、分析知識と技術等を総合して行う。

割合は活動状況30%、卒業論文50% 発表会プレゼンテーション20%とする。

総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

【事前予習】当該課題のテーマについてインターネット等で事前に情報収集し、当日討議出来る様に準備する事

【事後学修】討議や指導コメントを踏まえて調査結果を発表またはレポートにまとめて提出すること

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

推薦書 別途指示する

科目名	卒業研究		
担当教員名	小野 裕次郎		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Dクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

本科目は情報システムの構築・管理・運用またはこれを活用するための知識・技術をより深めていくためにプレゼミナール・演習 ・ で得た知識・技術を発展させ卒業研究へと繋げていく科目となる。

ゲーム作成ではゲームの作成・改良を行っていく。データ解析では、基礎的な解析結果から解析目標を絞り込み、より深く解析していく。

自分で建てた研究目標に向かって自分の研究工程を明確にし、それに沿って研究を進めていく。このことによって知識・スキルを深めるとともに自分で考え結果を出していくことを到達目標とする

#### 内容

1 週	オリエンテーション
2 週	各自研究分野の再調査・再検討
3 週	各自研究分野の修正・変更
4 週	各自研究分野の計画再作成
5 ~ 6 週	研究計画発表会
7 ~ 1 3 週	研究計画に沿って実施
1 4 ~ 1 5 週	研究成果報告会
1 6 ~ 1 8 週	各自研究内容のまとめ
1 9 ~ 2 0 週	卒業論文資料作成
2 1 ~ 2 5 週	卒業論文作成
2 6 ~ 2 7 週	卒業論文発表会発表資料作成
2 8 週	卒業論文発表会予行
2 9 ~ 3 0 週	卒業論文発表会

#### 評価

平常点 2 0 %、自分の研究内容理解及び、発表点 8 0 %とし、総合評価 6 0 点以上を合格とする。

【フィードバック】 毎回の研究進捗状況の報告と問題個所の提示、発表内容に対応し、研究・まとめ方針を指示する。

#### 授業外学習

【事前予習】 研究計画に従い、事前準備をしておく。

【事後学修】 研究計画より遅れている場合は研究を進めておく。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

詳細については、オリエンテーションで指示する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Hクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

##### 科目の性格

生活情報学科の専門必修科目である。

##### 科目の概要

演習 に引き続いて、卒業論文の完成を目指し、さらにプレゼンテーション用の資料を作成する。

##### 学修目標

卒業論文の完成を目指す。

#### 内容

卒論の完成を目指す。アウトラインに基づいて執筆を始める。さらに発表でのコメント、教員の指導のもと修正を図りながら完成させる。

#### 評価

卒業研究に対する積極的な準備と意欲的な態度（40点）及び、課題発表等の達成度（60点）を総合して判断し、評価を行う。60点以上を合格とする

#### 授業外学習

【事前予習】卒業論文の作成を行う。

【事後学修】授業での教員のコメントや他の学生の意見を参考に卒論作成を進める。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト（教科書）】随時教室にて指示する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	大友 由紀子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Cクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

生活情報学科専門科目の必修科目である。

科目の概要

2年次後期のプレゼミナール、3年次の演習 ・ 演習 を通じて絞られた個々の研究テーマについて、社会調査による実証データを収集・分析し、ゼミナールでの中間報告とグループディスカッションを通じて考察を深め、論理性のある研究論文を執筆する。

学修目標

自らの大学4年間の学修を総括する研究テーマについて、オリジナルなデータに基づいた考察を深める。客観的な論理に基づく新たな知見を提示し、残された課題を把握する。その成果を研究論文として仕上げる。

内容

卒業研究は、以下の手順によって進められる。1 . 研究テーマの設定、2 . 先行研究の検討、3 . 独自性・独創性のある理論の展開、4 . まとめと今後の課題の提示。

参加学生は、ゼミナールにおいて卒業研究を中間報告し、グループディスカッションすることによって、各自の研究テーマについて理解を深める。担当教員は、個々の研究課題に対して理論や接近法を助言するとともに、研究論文 ( 本文14,000字から20,000字 ) の執筆について技術指導する。

なお、近年の卒業論文のテーマには、以下のものがある。

- 「ソーシャルゲームをめぐるトラブルと安全規制 - 消費者保護の視点から - 」
- 「現代のスピリチュアル・ブーム - 癒し・スピリチュアル系商品・サービスの市場 - 」
- 「郊外型ショッピングセンターの開発と生活圏の変化 - 埼玉県高坂ニュータウン周辺の場合から - 」 「日本におけるコーヒー文化の新潮流 - 30年間の新聞記事検索を手がかりに - 」
- 「即席麺の市場拡大とご当地カップ麺の投入」
- 「母乳育児と人工栄養の普及についての日中比較」
- 「農山漁村における食文化の継承と変革 - 郷土料理とアイデア料理から - 」
- 「日本における老舗の存続戦略 - 中国での応用可能性を問う - 」
- 「雑誌『 a n ・ a n 』の占い特集からみた若い女性の悩みの変化」
- 「チャペルウエディングの流行が意味するものは何か」
- 「シェアハウスで暮らす - 新しい共同性のあり方 - 」

評価

授業中の発表や討議を50点、卒業論文を50点とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習



【事前予習】授業時の研究発表むけて準備する。

【事後学修】授業時の討論の成果をもとに研究論文を執筆する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

参加学生個々の研究テーマに応じて、授業時に推薦書を紹介する。

科目名	卒業研究		
担当教員名	新行内 康慈		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Jクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格

プレゼミナール・演習 ・ を受け、卒業研究を進める

科目の概要

各自の設定した研究テーマについて研究計画に基づいて卒業研究を進め、論文にまとめる

学修目標 ( = 到達目標 )

- ・ 卒業論文を完成させる
- ・ 卒業研究を進めるプロセスを通して実践的な問題解決能力を身につける

内容

研究計画に基づいてデータ収集とデータ解析・オペレーションズリサーチの手法による仮説の検証を行う。これらは報告・ディスカッションをしながら進め、研究計画は必要に応じて修正する。得られた結果について考察し、卒業論文にまとめる。

論文及びその要旨を提出し、その概要について発表する。

評価

論文・プレゼンテーション：80%+ 取り組み：20%とし、総合的評価60点以上を合格とする。

授業外学習

- 【事前予習】ゼミ報告資料をまとめる
- 【事後学修】ゼミでのコメントをフォローし、論文を執筆する

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

【教科書】

- テキストの詳細については初回授業で指示する
- 必要に応じて資料を配布する

科目名	卒業研究		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 ( J ) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Aクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

科目の性格：

演習 ・ で学んだことを基礎に、卒業研究としての論文作成作業を進め、最終的に論文を完成させます。

科目の概要：

金融やその他企業の活動にかかわるビジネス法等を、生活者・消費者の視点から、また、ビジネスパーソンの視点から考察します。契約を中心として、私法の分野からアプローチしてゆきます。文献収集、参加者による報告、論文執筆を通じて、法律とその背景や、現在の社会をめぐる状況を踏まえ、その機能・限界を理解したうえで、展望について検討します。

学習目的：

広く社会に関心を持ち、現状を踏まえ、それらをめぐる法律はどのようになっているのか、法の目的や紛争解決手段を学びます。

#### 内容

3年生時の研究テーマ、ゼミ・レポートを踏まえて、各自選択した卒業研究テーマの研究を進めます。前期にはテーマの確定、構想、文献調査を行い、後期にはそれをもとに卒業研究を論文の形に仕上げ作業を進めてゆきます。

#### 評価

研究会での参加の状況 ( 30% )、卒業研究の進捗状況・内容 ( 70% ) により総合的に評価します。100点満点の60点が単位取得の下限です。

#### 授業外学習

【事前予習】卒業研究の完成へ向けて進めた作業をまとめる。自らの進捗状況を把握する。

【事後学修】授業時に指摘された個所についてさらに加筆修正し、課題を完成へ向けて作業を進める。

#### 教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

参加学生の関心に照らし、授業時に指示します。

科目名	卒業研究		
担当教員名	松本 晃子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（J）-生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Fクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

#### 科目の性格

3年次までのゼミの学習から各自の卒業研究へ発展させていく。

#### 科目の概要

前半では、各自のテーマの問題意識、仮説、調査研究を明確にし、論文のスケルトンを仕上げる。  
後半からは、調査・分析へ向けて考察と討論を行い、仕上げていく。

#### 学修目標（＝到達目標）

大学生活の集大成としての卒論論文を仕上げていくことで、学士としての能力の総仕上げとする。

#### 内容

先行研究を調べ、そこから問題を追及して、テーマを設定する。  
論文構成、調査・分析の総仕上げを行っていく。

9月下旬に中間報告を提出し、最終的な提出期限は12月中旬を予定している。  
8000字以上。

#### 評価

研究課程・論文作成過程、研究の口頭発表により、総合的な評価をし、  
総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前準備】卒業論文のテーマについて、各自考察しておくこと。
- 【事後学修】前期では卒業論文のスケルトン及び概要の仕上げを目標。  
後期では論文の執筆仕上げ。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

個別に指示。

科目名	卒業研究		
担当教員名	加藤 順弘		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (J) - 生活情報学科		
学 年	4	ク ラ ス	0Eクラス
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	4
資 格 関 係			

#### ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

卒業研究は、演習 に引き続き、企業の財務諸表分析や企業経営の考え方を会計、税務の両面から幅広く検討し、必修である卒業研究論文を作成する科目である。

具体的には、演習 で学修した会計学、税制の基礎力の確認を行った後、各自の卒業研究テーマを確定し、研究作業に入る。進捗状況に応じた数回の卒業研究発表では、パワーポイント等のソフトウェアを利用して発表を行う。卒論テーマは会計学、税制の範囲に限らず、幅広い分野からのテーマ設定が可能である。発表におけるプレゼンテーションやディスカッションを通してスピーディな資料の作成能力や発言力、ソフトウェアを利用した表現力、効果的な発表力等を身につける。

学修目標としては以下の4点をあげる。

1. 早期卒論テーマの確定。
2. 基礎的分析力、問題点の把握とその解決能力の習得。
3. 研究に関する基礎能力の育成。
4. 効果的なプレゼンテーションスキルの向上。

#### 内容

具体的な卒業研究の内容は以下のとおりである。初回はオリエンテーションを行うが、翌週からは各自1年間の卒業研究計画の策定、卒業研究論文の方法論の確認等を経てテーマ設定に入る。前期の卒業研究ゼミでは、卒論のメインテーマ、サブテーマ、章構成等の検討後、パワーポイント等のソフトを用いて進捗状況に応じ、各自数回の発表報告を行う。夏季休暇における合宿では、卒論のテーマ、構成等の最終的な報告会を行い、後期の本論文作成に備える。また前期では必要に応じて、日商簿記検定試験やFP等の資格試験対策、グループディスカッションや模擬面接等の就活対策等も行う。後期の卒業研究ゼミでは、前期の合宿による卒論の最終発表報告を受けて本論文の作成が中心となる。後期のオリエンテーション後、速やかに本論文の作成に入り、翌年1月末の卒業研究論文集の完成のため、12月中のファイナルドラフトの終了を目指す。

#### 評価

卒論発表 (50%)、レポート・ホームワーク等の作成 (20%)、ディスカッション等ゼミナール参画態度 (30%) とし、総合評価60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

- 【事前準備】発表者はロスタイムのないように事前に準備・確認等しておくこと
- 【事後学修】発表で指摘を受けた部分は速やかに修正しておくこと

#### 教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

資料・推薦書等については、ゼミの進捗状況に応じ授業内で指示する。また必要に応じ適宜プリントを配布する。